

Ⅲ 調査結果

1 成人（20歳以上）対象調査

1) 「食育」について

◆あなたは「食育」という言葉を知っていますか。

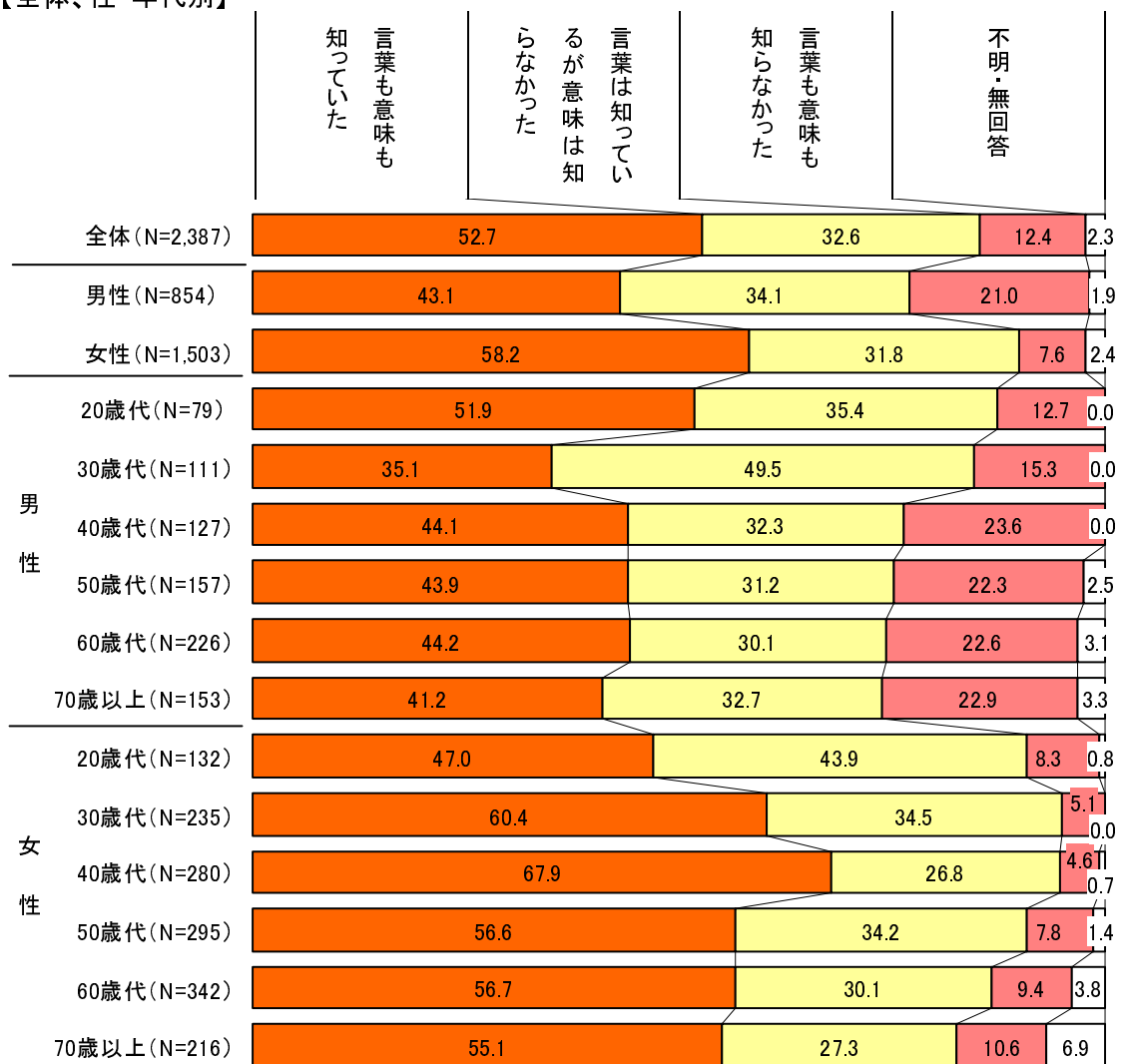
「食育」を認知している人の割合は男性で約8割、女性は9割となっています。

全体でみると、『「食育」を認知している』（「言葉も意味も知っていた」と「言葉は知っているが意味は知らなかった」の合計）は85.3%となっており、性別にみると男性は77.2%、女性は90.0%で男性よりも女性の方が12.8ポイント高くなっています。

性・年代別にみると、男性の40歳以上は「言葉も意味も知っていた」が4割を超えて高く、次いで「言葉は知っているが意味は知らなかった」が3割を超えています。

一方、女性は「言葉も意味も知っていた」が30～40歳代で6割以上、50歳以上で5割以上と高く、次いで「言葉は知っているが意味は知らなかった」が30歳代・50～60歳代で3割以上、40歳代・70歳以上でそれぞれ26.8%、27.3%となっています。

【全体、性・年代別】



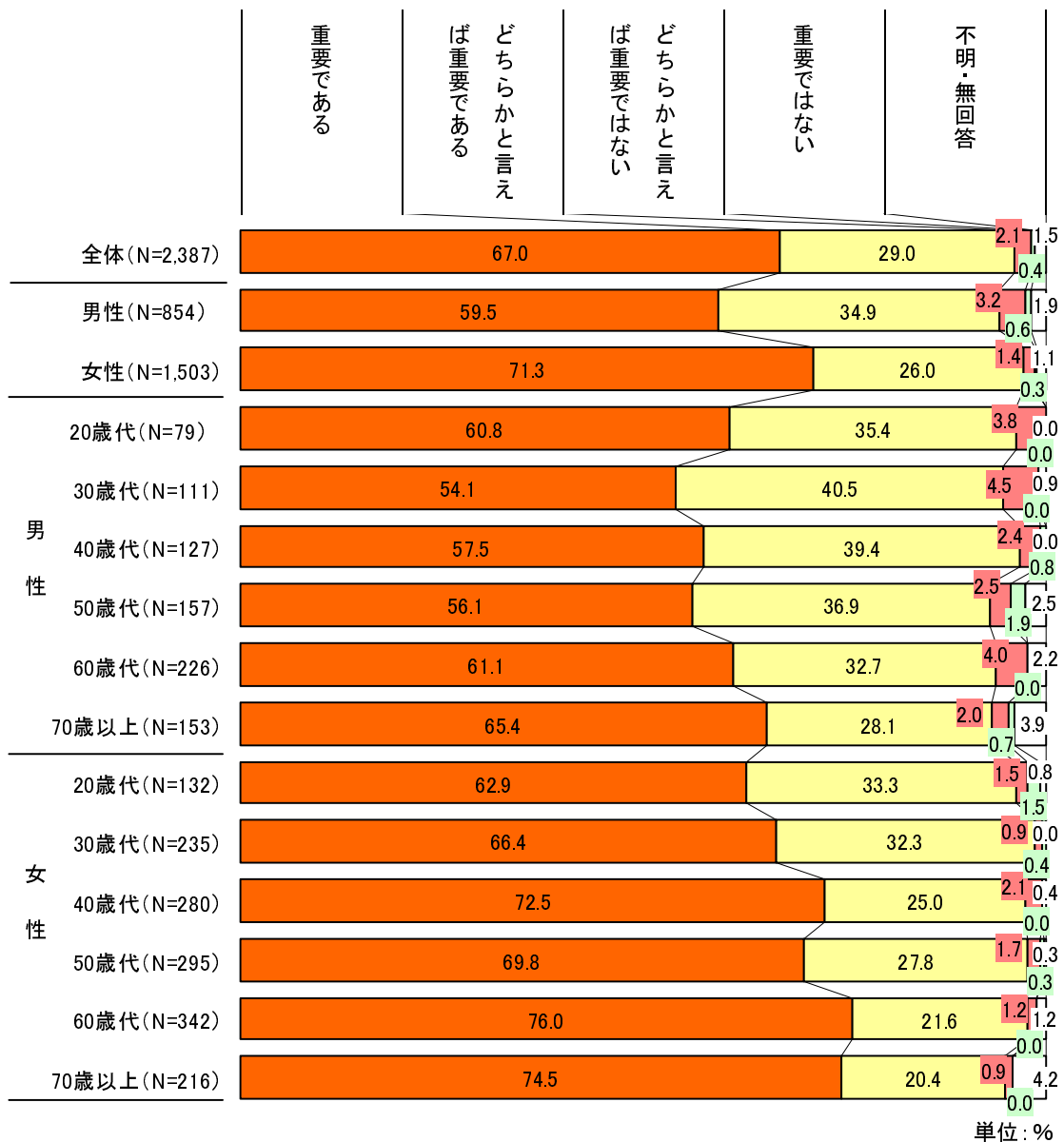
◆あなたは、「食育」が重要であると思いますか。

9割以上の方が「食育」を重要であると思っています。

全体でみると、「重要である」が67.0%で最も高く、性別では男性は59.5%、女性は71.3%となっています。『重要である』（「重要である」と「どちらかと言えば重要である」の合計）についてみると、男性・女性ともに9割を超えています。

性・年代別にみると、男性は「重要である」が最も高く、特に20歳代・60歳以上で6割を超えています。女性も「重要である」が最も高く、40歳代・60歳以上で7割を超えています。また、すべての年齢において男性より女性の方が高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆あなたが「食育」を重要だと思う理由はなんですか。(複数回答)

トップ3は「食生活の乱れ」「生活習慣病」「子どもの健全な発育」
となっています。

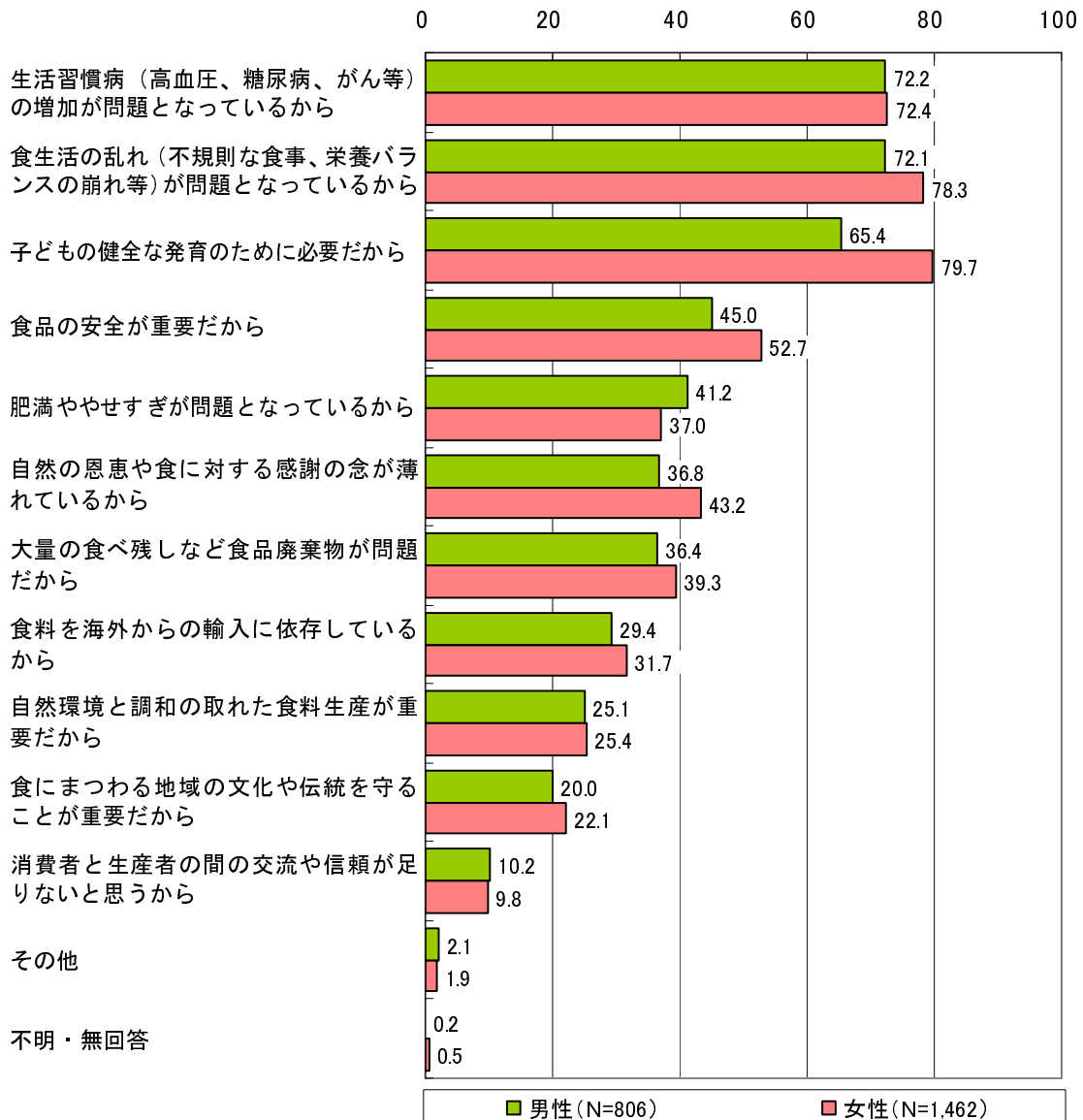
男性は「生活習慣病の増加が問題となっているから」が72.2%で最も高く、次いで「食生活の乱れが問題となっているから」が72.1%、「子どもの健全な発育のために必要だから」が65.4%となっています。

一方、女性は「子どもの健全な発育のために必要だから」が79.7%で最も高く、次いで「食生活の乱れが問題となっているから」が78.3%、「生活習慣病の増加が問題となっているから」が72.4%となっています。また、「子どもの健全な発育のために必要だから」については男性よりも女性の方が14.3ポイント高くなっています。

男性・女性ともに、「食生活の乱れ」「生活習慣病の増加」「子どもの健全な発育のため」が1位から3位までとなっています。

【性別】

単位:%



◆あなたは、次のような食育に関する取り組みを実践したり、地域活動に参加してみたいと思いますか。(複数回答)

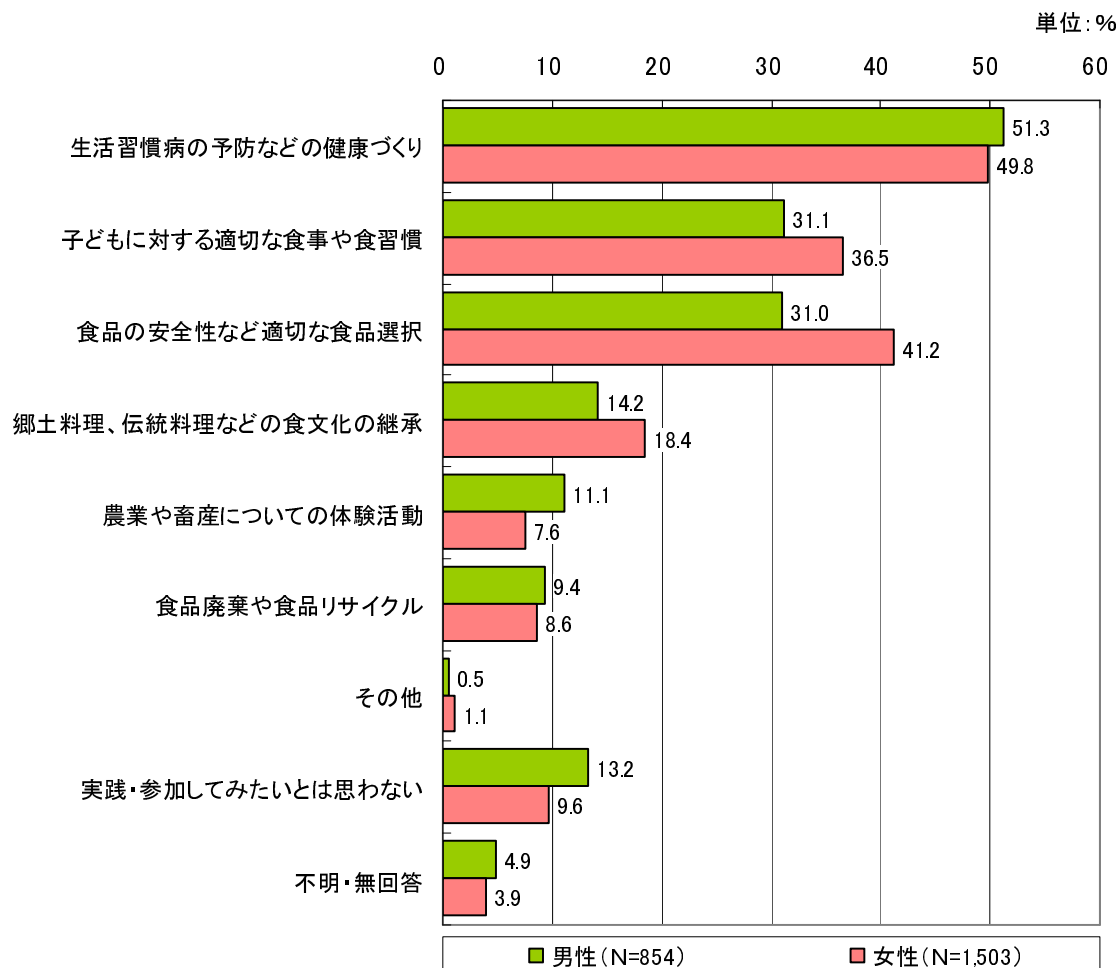
トップ3は「生活習慣病予防」「子どもの食習慣」「適切な食品選択」
となっています。

男性は「生活習慣病の予防などの健康づくり」が51.3%で最も高く、次いで「子どもに対する適切な食事や食習慣」が31.1%、「食品の安全性など適切な食品選択」が31.0%となっています。

女性は「生活習慣病の予防などの健康づくり」が49.8%で最も高く、次いで「食品の安全性など適切な食品選択」が41.2%、「子どもに対する適切な食事や食習慣」が36.5%となっています。また、「食品の安全性など適切な食品選択」については男性よりも女性の方が10.2ポイント高くなっています。

男性・女性ともに、「生活習慣病の予防などの健康づくり」「子どもに対する適切な食事や食習慣」「食品の安全性など適切な食品選択」が1位から3位までとなっています。

【性別】



2) 食生活について

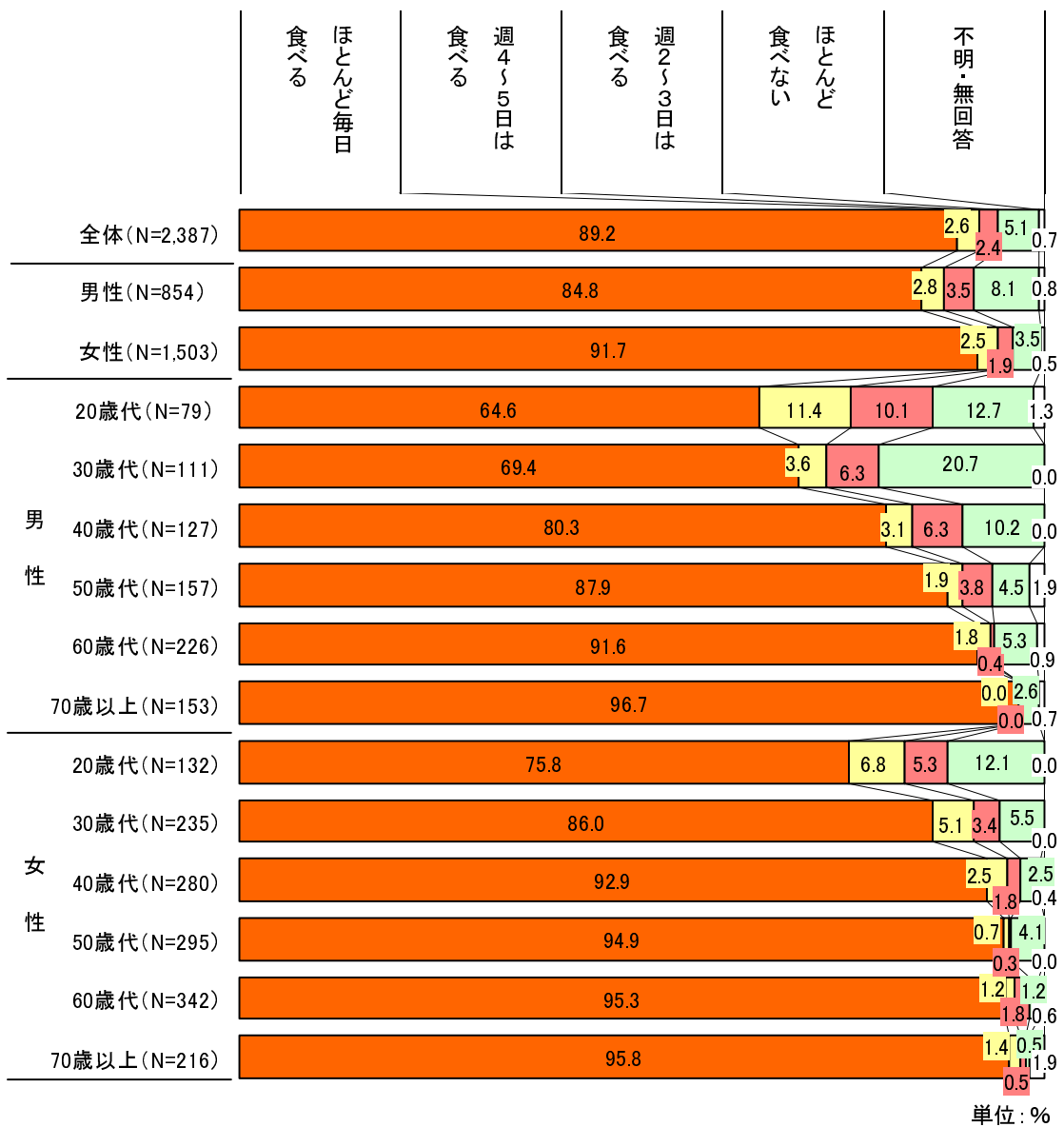
◆あなたは朝食を食べますか。

9割の人は朝食を食べています。

全体で見ると、『朝食を食べる』（「ほとんど毎日食べる」と「週4～5日は食べる」と「週2～3日は食べる」の合計）が94.2%となっています。性別にみると男性は91.1%、女性は96.1%となっています。

性・年代別にみると、男性の20～30歳代と女性の20歳代は『朝食を食べる』が低くなっています。また、男性は年齢が上がるにつれて「ほとんど毎日食べる」が高くなっており、60歳以上は「ほとんど毎日食べる」が9割を超えています。一方、女性は40歳以上で「ほとんど毎日食べる」が9割を超えています。

【全体、性・年代別】

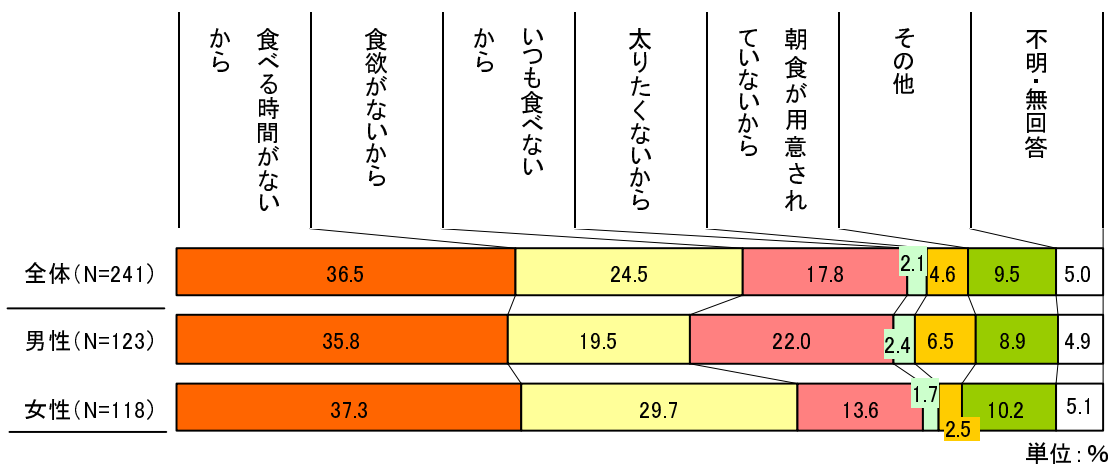


◆朝食を食べない理由は何ですか。

「食べる時間がないから」が朝食を食べない最大の理由です。

男性・女性ともに「食べる時間がないから」が最も高く、それぞれ 35.8%、37.3%となっています。次いで男性は「いつも食べないから」が 22.0%となっています。一方、女性は「食欲がないから」が 29.7%と続いています。「食欲がないから」については女性の方が男性よりも 10.2 ポイント高くなっています。

【全体、性別】

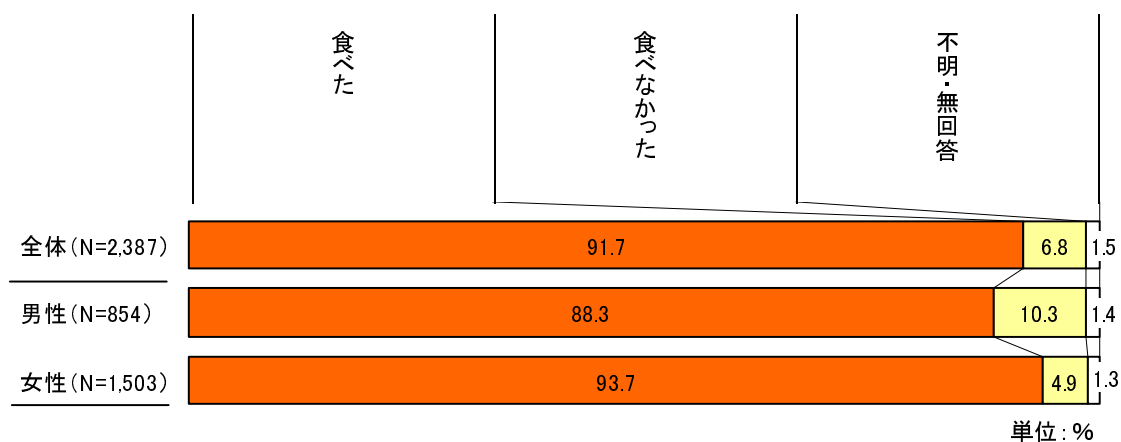


◆今朝は朝食を食べましたか。

男性の1割が今朝は朝食を食べていません。

「食べた」は男性が 88.3%、女性が 93.7%となっています。男性は「食べなかった」が 10.3%となっています。

【全体、性別】



◆食べた人は食べたものをAからE群ごとに選んでください。また、食べなかった人は朝食でよく食べるものを選んでください。

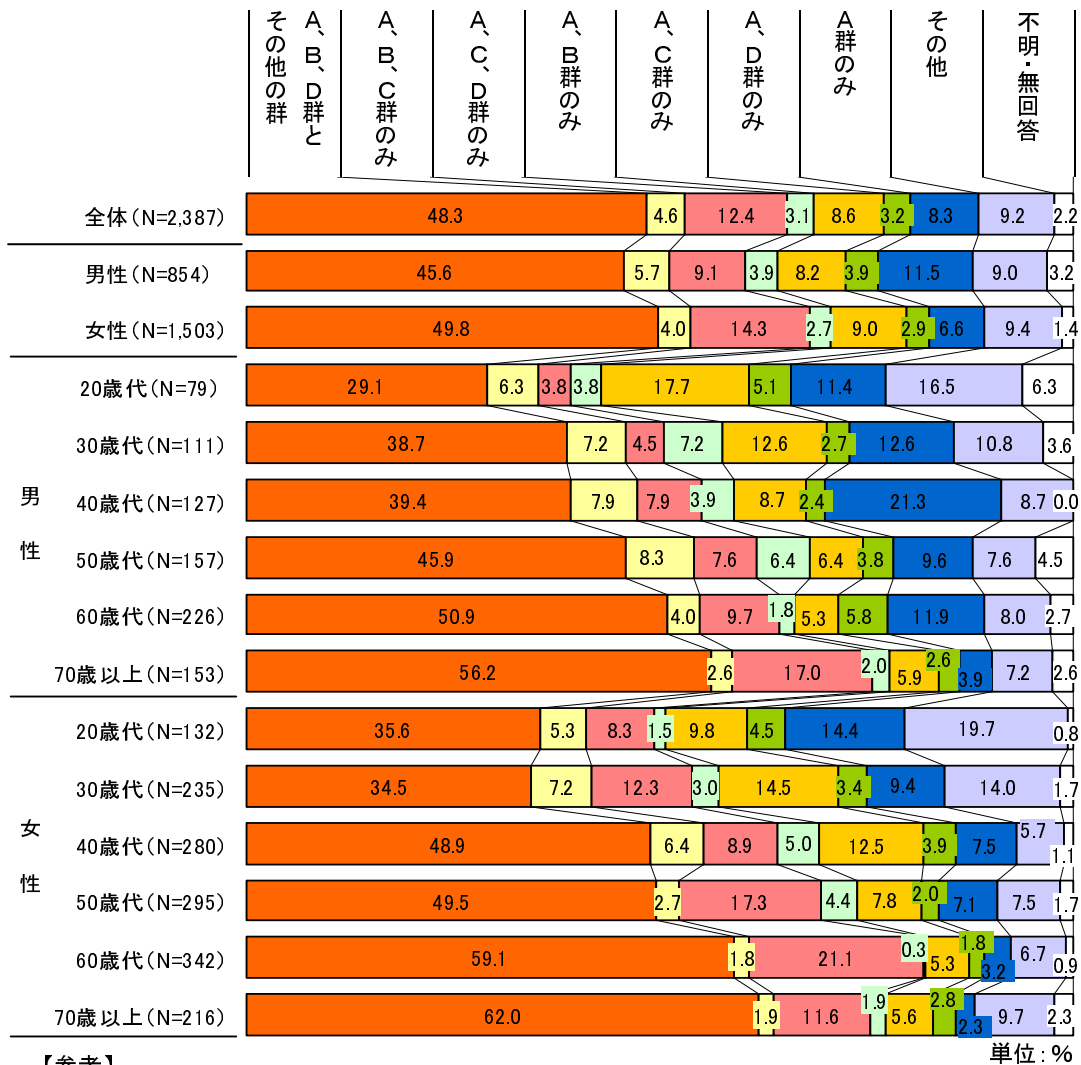
主食と副菜などを組み合わせる人は年代が高くなるほど多くなります。

全体でみると、「A、B、D群とその他の群」が48.3%で最も高く、性別にみると男性は45.6%、女性は49.8%となっています。

性・年代別にみると、男性は年齢が上がるにつれて「A、B、D群とその他の群」が高くなっており、60歳以上で5割を超えています。

女性についても30歳以降は年齢が上がるにつれて「A、B、D群とその他の群」が高くなっており、60歳以上で6割程度となっています。

【全体、性・年代別】



【参考】

A群	1 なし 2 ごはん 3 食パン 4 調理パン 5 菓子パン 6 コーンフレーク
B群	1 なし 2 卵料理 3 魚類（ちりめんじゃこ・かまぼこなども含む） 4 肉類（ハム・ソーセージも含む） 5 納豆
C群	1 なし 2 牛乳 3 ヨーグルト 4 チーズ
D群	1 なし 2 野菜料理（サラダ・煮物・おひたしなど） 3 くだもの 4 みそ汁 5 漬け物
E群	1 なし 2 ゼリー 3 野菜ジュース 4 清涼飲料水 5 おかし
その他	()

◆あなたは、1週間のうち1人で夕食をとる回数は何回ぐらいですか。

1人で夕食をとる回数は男性の方が多いです。

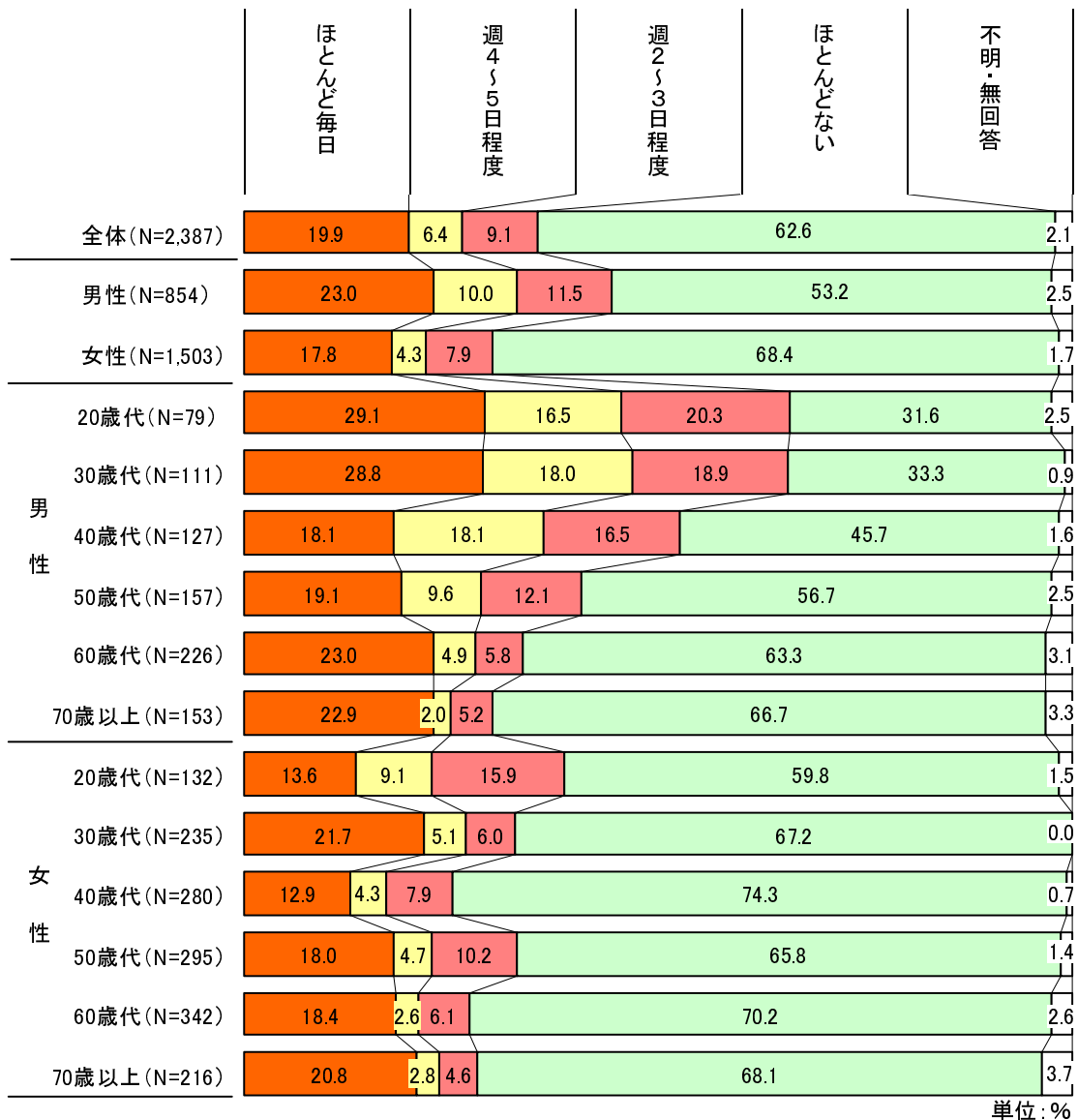
全体で見ると、「ほとんどない」が62.6%で最も高く、性別にみると男性が53.2%、女性は68.4%となっています。

性・年代別にみると、男性は50歳以上で「ほとんどない」が5割を超えて高くなっており、60歳以上は6割を超えています。男性の20歳代・30歳代では「ほとんど毎日」がそれぞれ29.1%・28.8%と3割近くになっています。

女性は30歳以上で「ほとんどない」が6割を超えて高く、20歳代についても59.8%と高くなっています。女性の30歳代・70歳以上で「ほとんど毎日」が21.7%・20.8%となっています。

男性・女性ともに、1人で夕食をとることは「ほとんどない」が最も高くなっていますが、『1人で夕食をとる』（「ほとんど毎日」と「週4～5日程度」と「週2～3日程度」の合計）については、男性の20歳代・30歳代で65.9%、65.7%と高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆米飯（カレーライスや丼なども含む）を1日何回食べますか。

ほとんどの人が毎日お米を食べています。

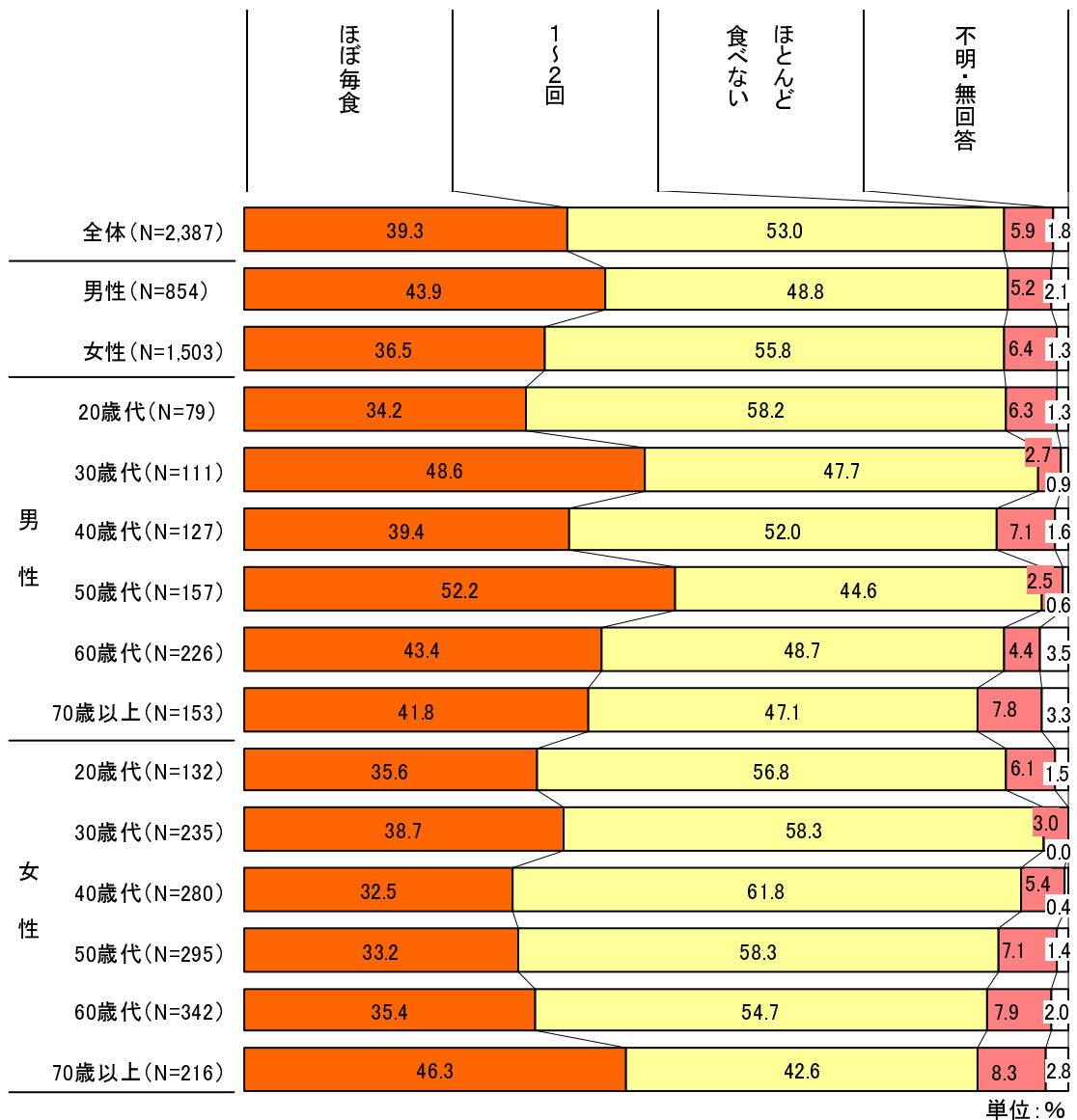
全体で見ると、「1～2回」が53.0%で最も高く、性別にみると男性は48.8%、女性は55.8%となっています。

性・年代別にみると、男性の20歳代・40歳代で「1～2回」が58.2%・52.0%となっており、50歳代は「ほぼ毎食」が52.2%となっています。

一方、女性はすべての年代で「1～2回」が高く、特に40歳代で61.8%と6割を超えています。

『1日に米飯を食べる』（「ほぼ毎食」と「1～2回」の合計）をみると、男性・女性ともに70歳以上を除くすべての年代で9割を超えています。

【全体、性・年代別】



◆あなたは、食事の時、時間をかけて、よく噛んで食べていますか。

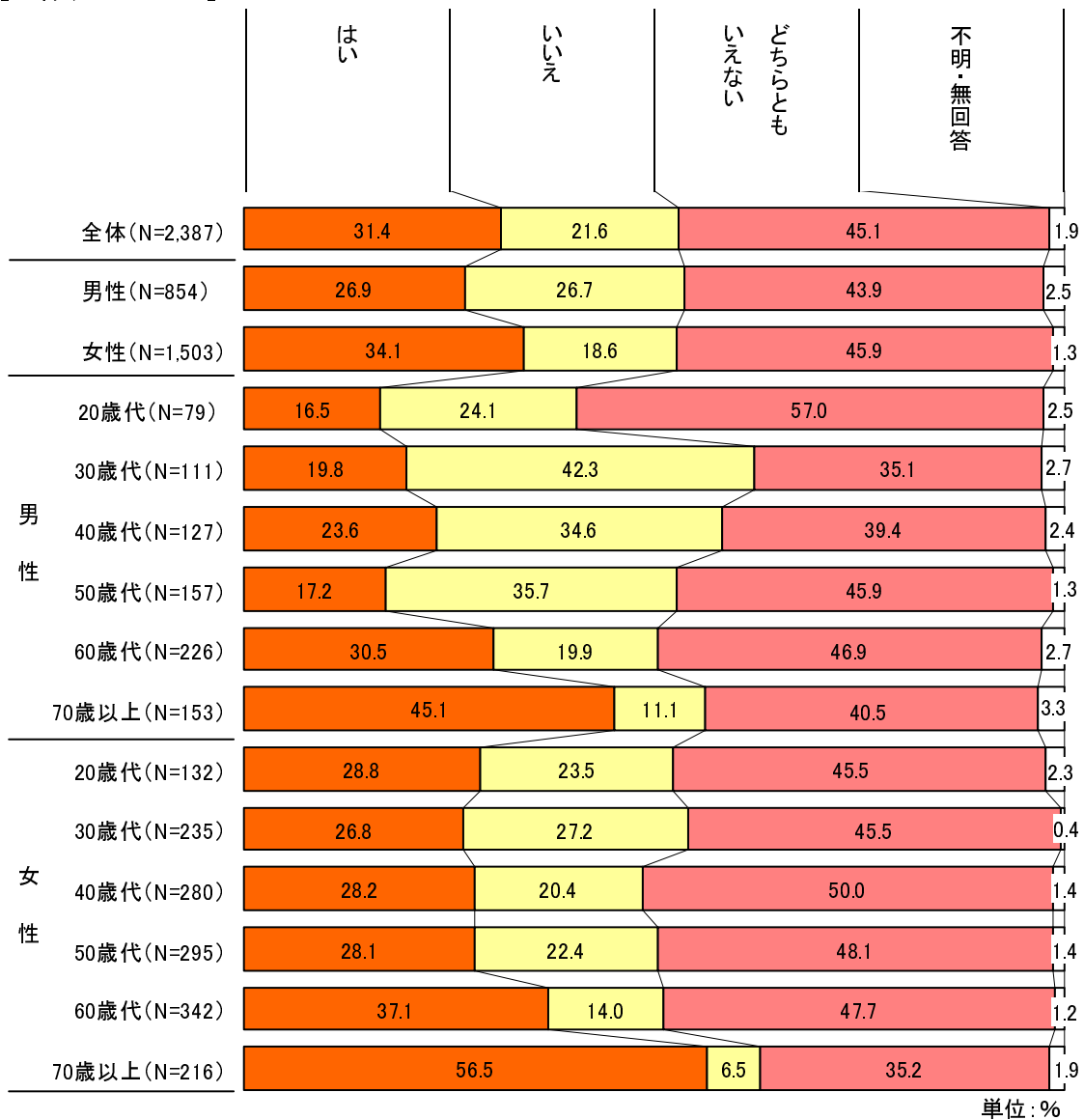
70歳以上でよく噛んで食べている人の割合が高くなっています。

全体でみると、「どちらともいえない」が45.1%で最も高く、性別でみると男性は43.9%、女性は45.9%となっています。

性・年代別にみると、男性の20歳代・40～60歳代は「どちらともいえない」が高く、30歳代は「いいえ」が42.3%、70歳以上は「はい」が45.1%で高くなっています。

一方、女性は70歳以上で「はい」が56.5%と高く、その他の年代においては「どちらともいえない」が4割以上で高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆あなたは食事が楽しいですか。

楽しく食事している人が8割近くいます。

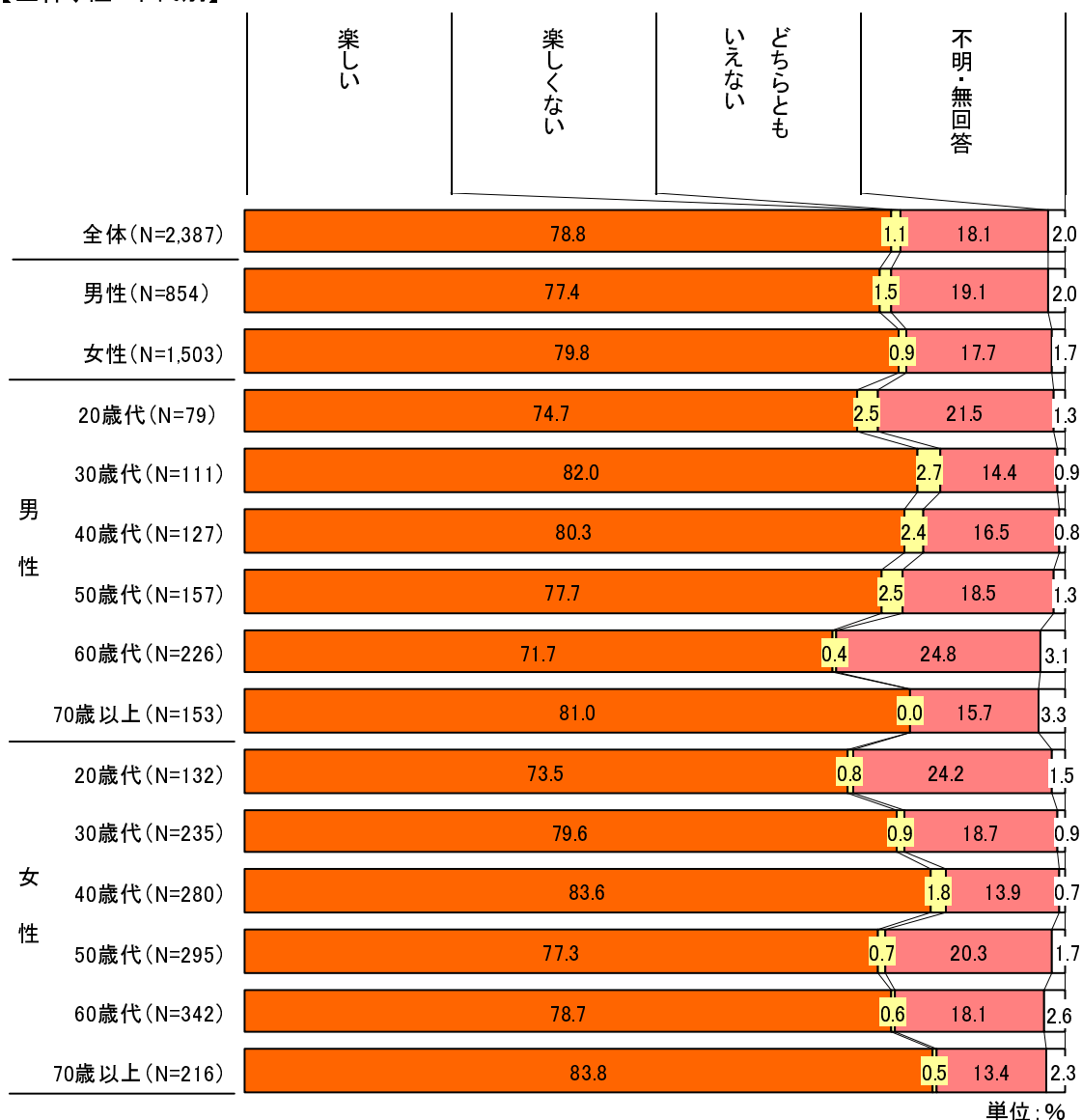
全体で見ると、「楽しい」が78.8%で最も高く、性別にみると男性は77.4%、女性は79.8%となっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「楽しい」が高く、特に30歳代で82.0%、70歳以上で81.0%となっています。

女性についてもすべての年代で「楽しい」が高く、70歳以上で83.8%、40歳代で83.6%となっています。

男性・女性ともに、すべての年代で「楽しい」が7割を超えています。

【全体、性・年代別】



◆あなたは、外食をすることがありますか。

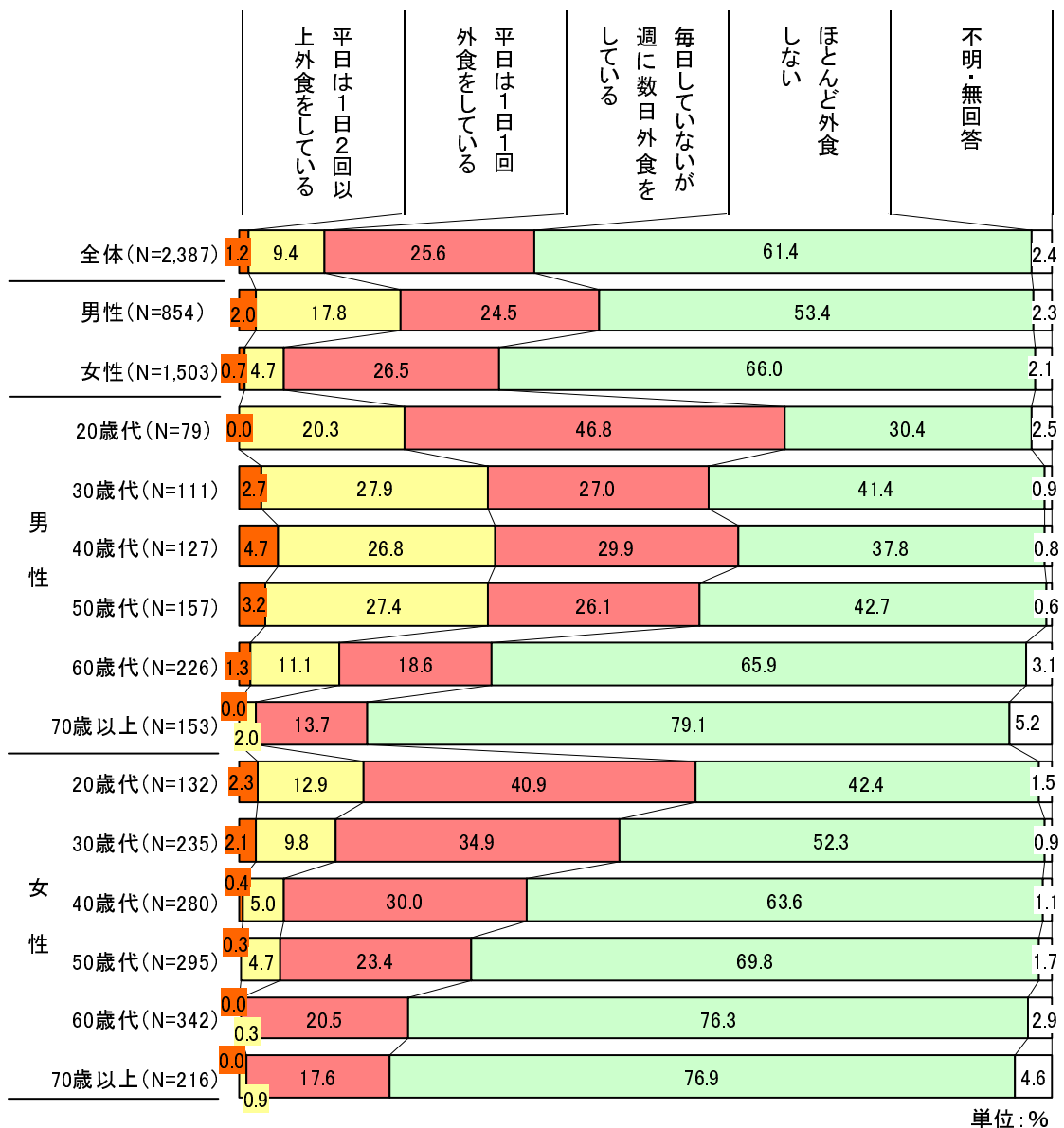
ほとんど外食をしていない人は6割程度となっています。

全体でみると、「ほとんど外食しない」が61.4%で最も高くなっています。性別にみると男性は53.4%、女性は66.0%と男性より12.6ポイント高くなっています。

性・年代別にみると、男性の20歳代を除くすべての年代で「ほとんど外食しない」が高く、特に70歳以上では79.1%となっています。男性の20歳代は「毎日していないが週に数日外食をしている」が46.8%となっています。

女性はすべての年代で「ほとんど外食しない」が最も高く、年代が上がるにつれて高くなっています。女性の20歳代は「毎日していないが週に数日外食をしている」が40.9%となっています。

【全体、性・年代別】



◆ペットボトル（500ml）・缶・紙パックなどの飲料をどれくらい飲みますか。

男性の方がペットボトルなどの飲料を多く飲んでいきます。

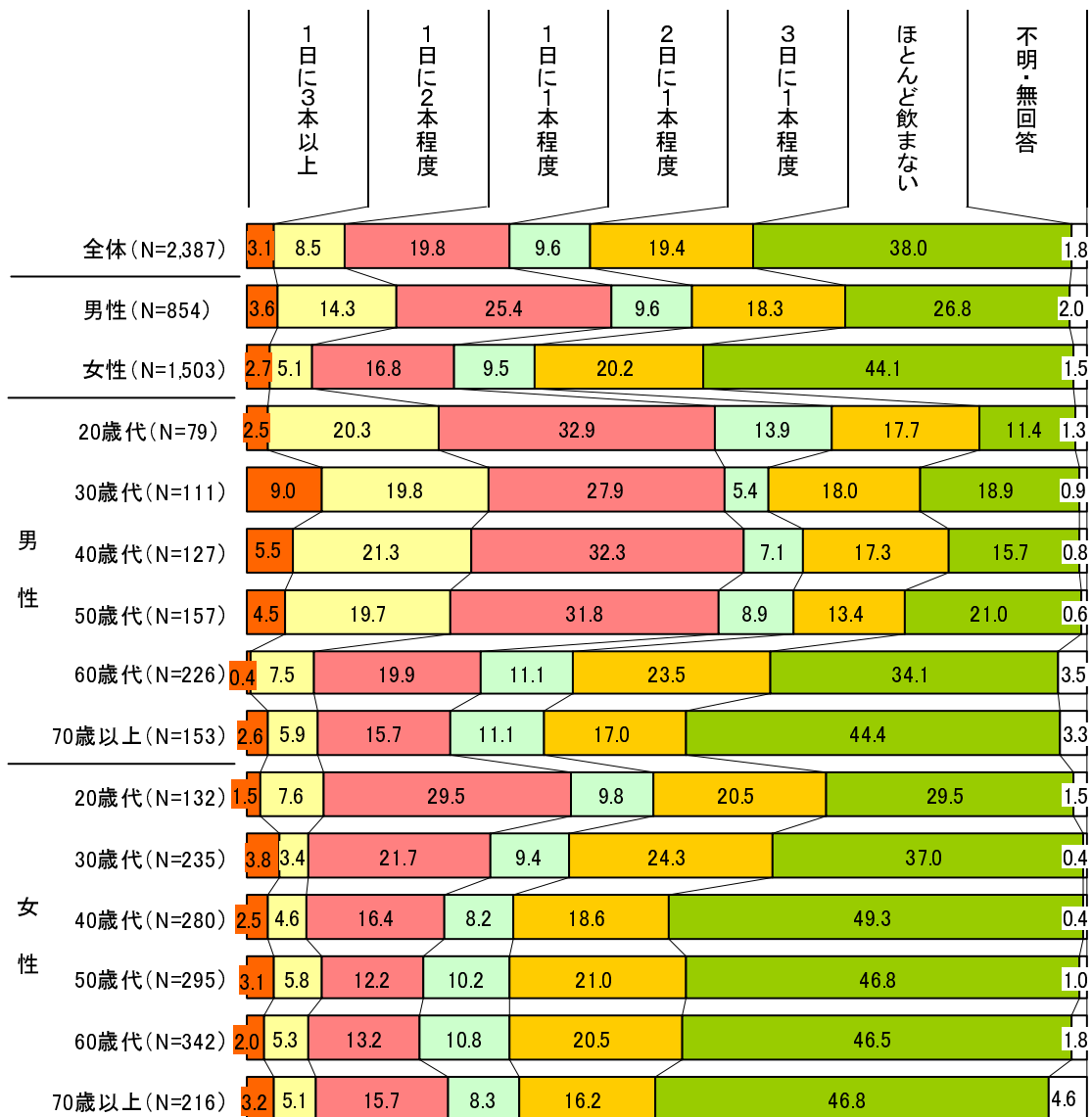
全体でみると、「ほとんど飲まない」が38.0%で最も高くなっています。性別にみると男性は「ほとんど飲まない」が26.8%、「1日1本程度」が25.4%と続いています。女性は「ほとんど飲まない」が44.1%で最も高く、男性より17.3ポイント高くなっています。

性・年代別にみると、男性の20～50歳代は「1日に1本程度」、60歳以上は「ほとんど飲まない」が高くなっています。

一方、女性は30歳以上で「ほとんど飲まない」が高く、40歳以上では4割を超えています。女性の20歳代は「1日1本程度」と「ほとんど飲まない」がともに29.5%となっています。

『1日1本以上』（「1日に3本以上」と「1日に2本程度」と「1日に1本程度」の合計）について男性の20～50歳代は5割を超えています。

【全体、性・年代別】



単位：%

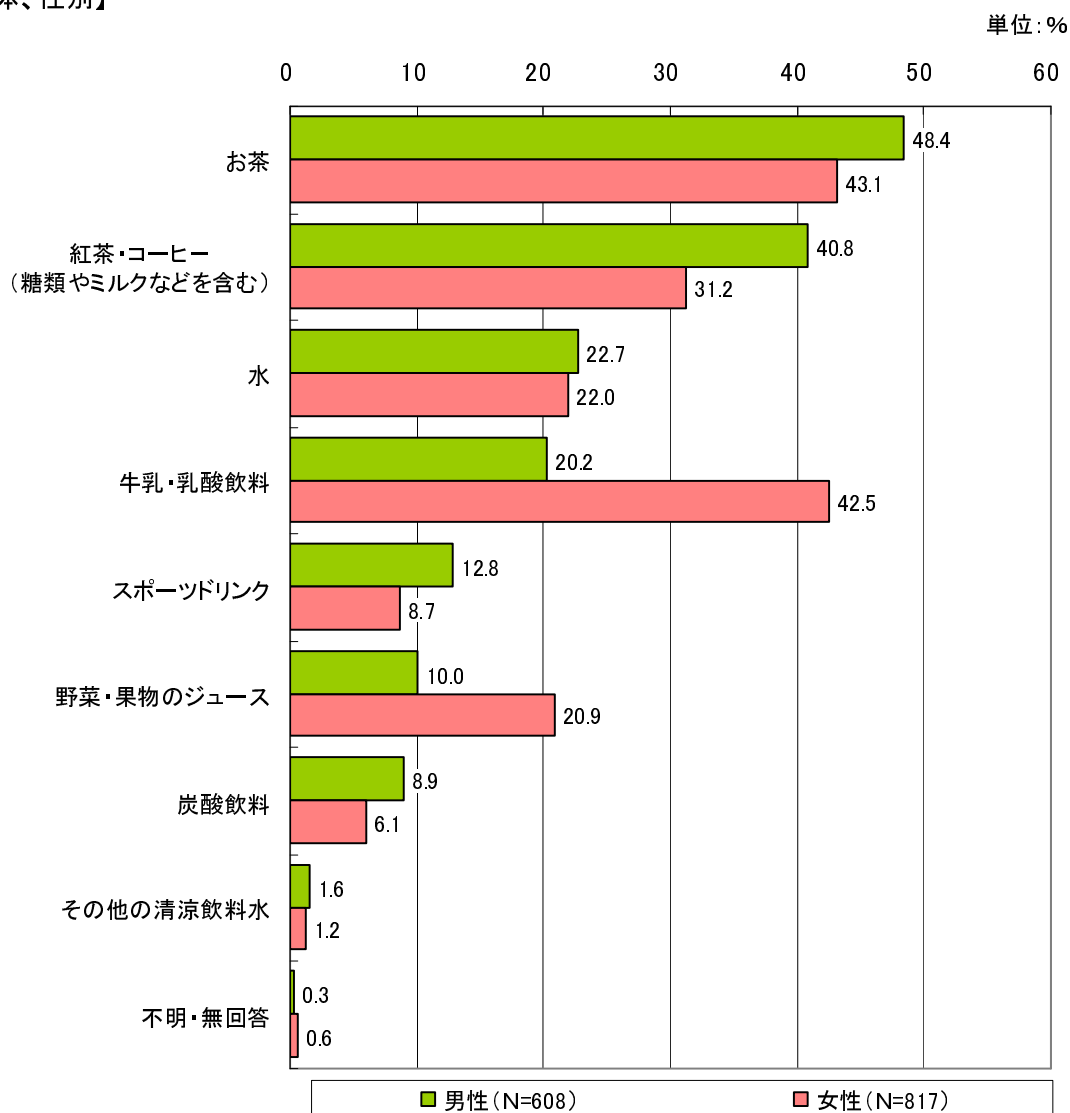
◆どのような飲み物を買いますか。(複数回答)

「お茶」を選ぶ人は4割以上います。

男性は「お茶」が48.4%で最も高く、次いで「紅茶・コーヒー（糖類やミルクなどを含む）」が40.8%となっています。

一方、女性は「お茶」が43.1%で最も高く、次いで「牛乳・乳酸飲料」が42.5%となっています。また、「牛乳・乳酸飲料」は男性より女性の方が22.3ポイント高くなっています。男性・女性ともに、「お茶」が高くなっています。

【全体、性別】



◆夕食で調理済み食品（お弁当、お惣菜、レトルト食品、冷凍食品などですぐに食べられるもの）を利用しますか。

男性・女性ともに半数以上の方はほとんど利用していません。

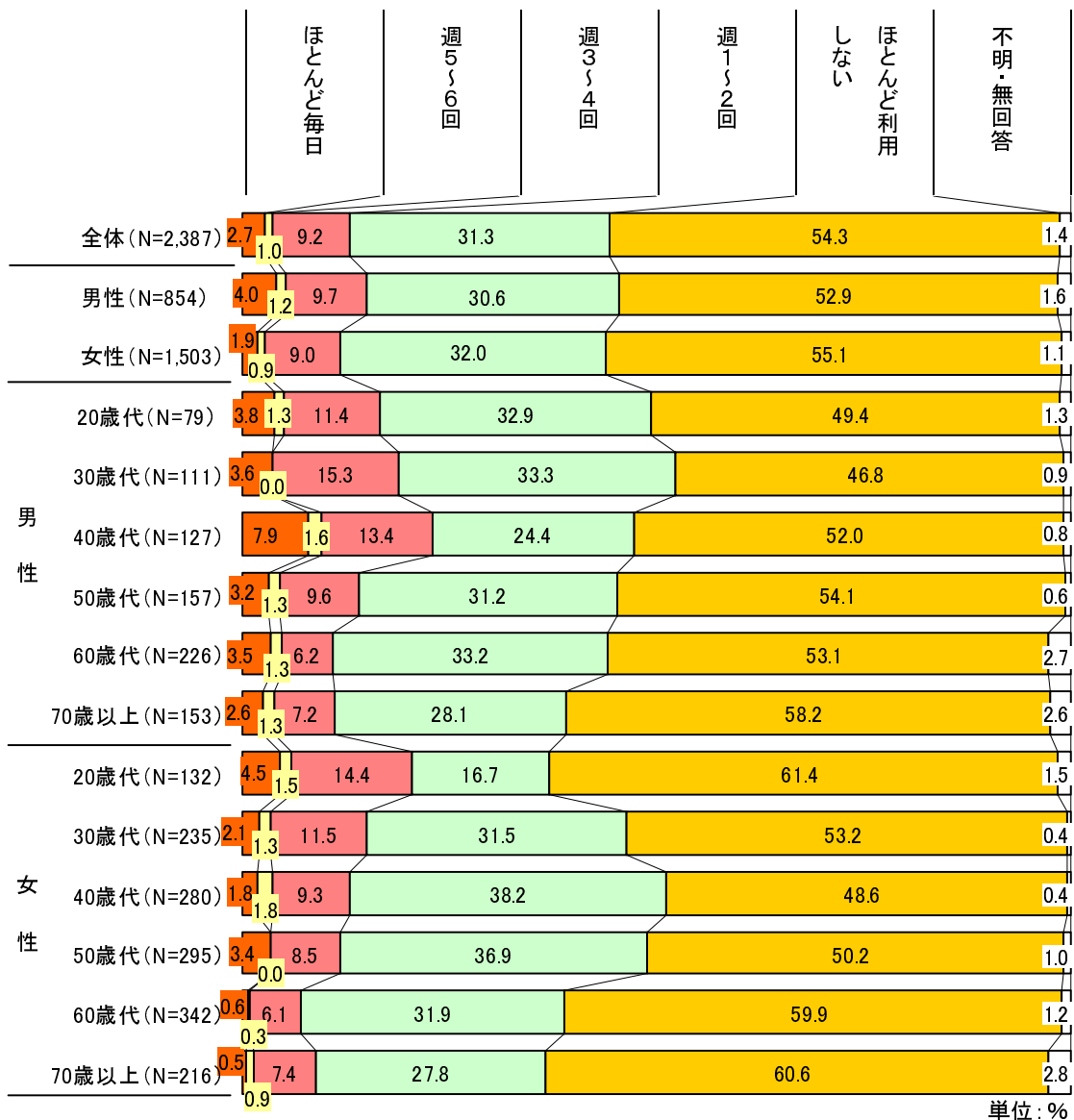
全体で見ると、「ほとんど利用しない」が54.3%で最も高く、性別にみると男性は52.9%、女性は55.1%となっています。

性・年代別にみると、男性のすべての年代で「ほとんど利用しない」が最も高く、特に40歳以上は5割を超えています。

女性についてもすべての年代で「ほとんど利用しない」が最も高く、特に20歳代・70歳以上で6割を超えています。

男性の30歳代と女性の40歳代は『週に1回以上』（「ほとんど毎日」と「週5～6回」と「週3～4回」と「週1～2回」の合計）が5割を超えています。

【全体、性・年代別】



◆調理済み食品を利用する理由は何ですか。(複数回答)

調理時間が短縮できるという理由で調理済み食品を利用しています。

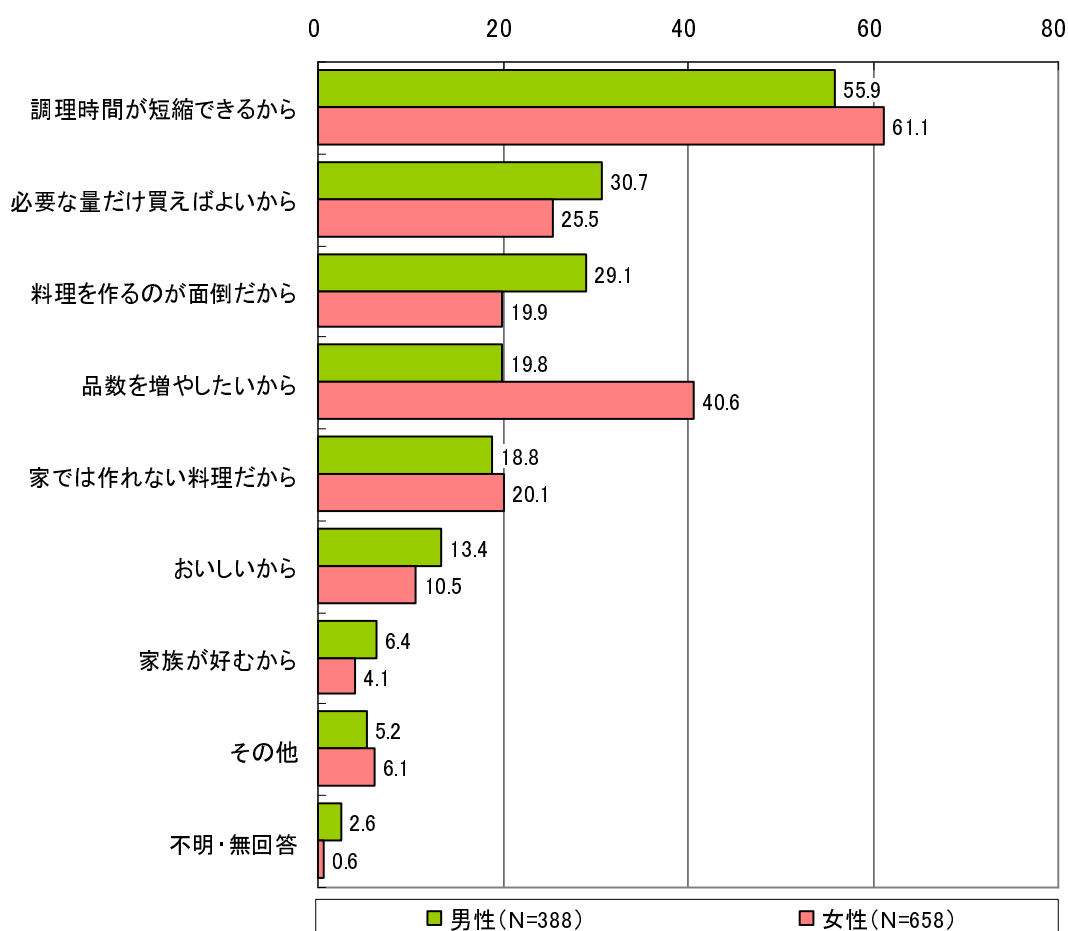
男性は「調理時間が短縮できるから」が55.9%で最も高く、次いで「必要な量だけ買えばよいから」が30.7%、「料理を作るのが面倒だから」が29.1%と続いています。

女性は「調理時間が短縮できるから」が61.1%で最も高く、次いで「品数を増やしたいから」が40.6%となっています。また、「品数を増やしたいから」は男性より女性の方が20.8ポイント高くなっています。

男性・女性とも「調理時間が短縮できるから」という理由で、調理済み食品を利用しています。

【性別】

単位：%



◆あなたは自分で料理を作りますか。

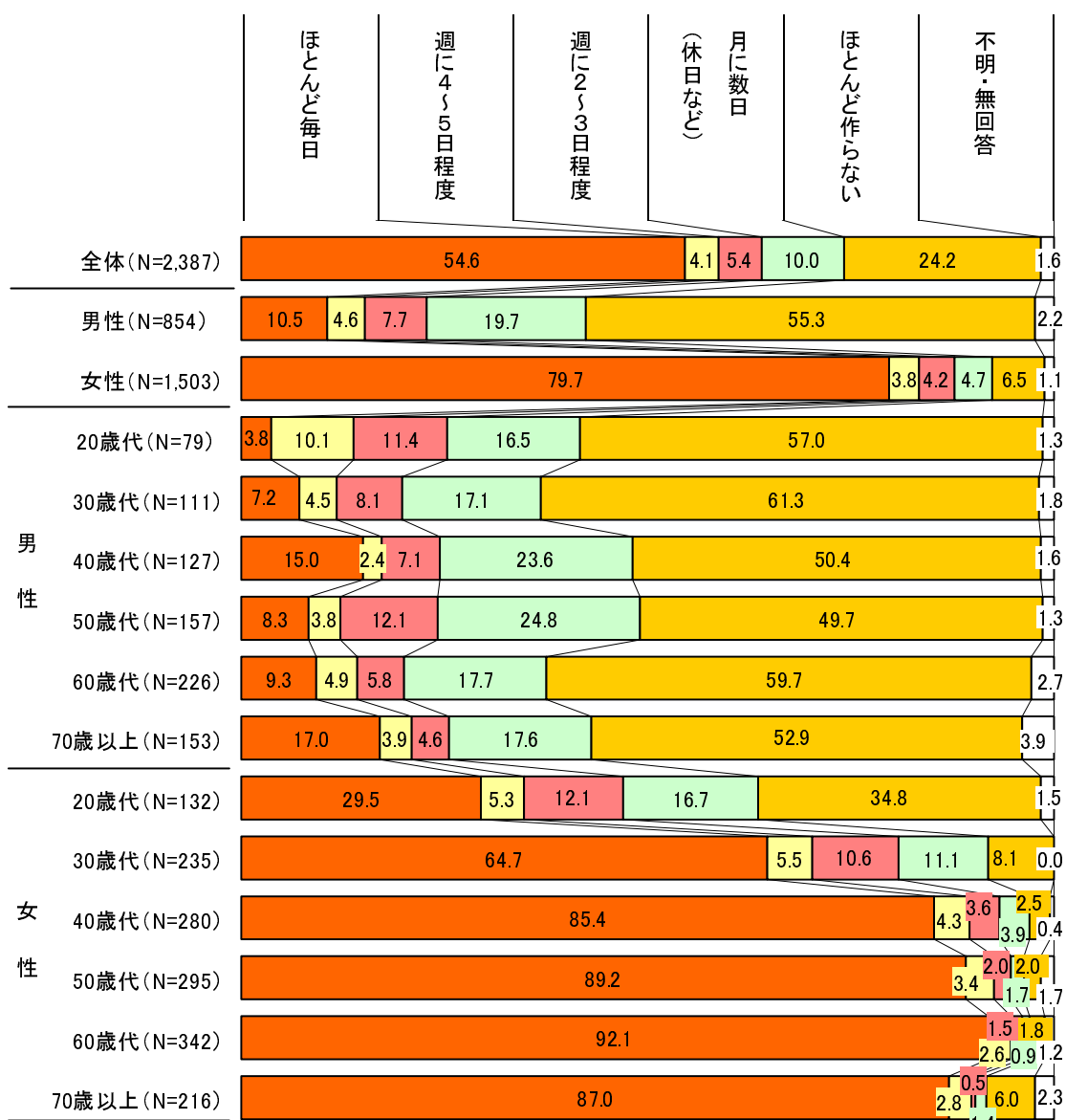
**男性はほとんど作らない人が多く、
女性はほとんど毎日作っている人が多くなっています。**

全体でみると、「ほとんど毎日」が54.6%で最も高くなっています。性別にみると男性は「ほとんど作らない」が55.3%で最も高くなっており、女性は「ほとんど毎日」が79.7%で男性よりも69.2ポイント高くなっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「ほとんど作らない」が最も高く、特に30歳代では61.3%と6割を超えています。その他の年代についても5割を超えています。

一方、女性は20歳代を除くすべての年代で「ほとんど毎日」が最も高く、40歳以上では8割を超えています。20歳代については「ほとんど作らない」が34.8%で、次いで「ほとんど毎日」が29.5%となっています。

【全体、性・年代別】



単位：%

◆あなたの現在の食生活を、どのように思っていますか。

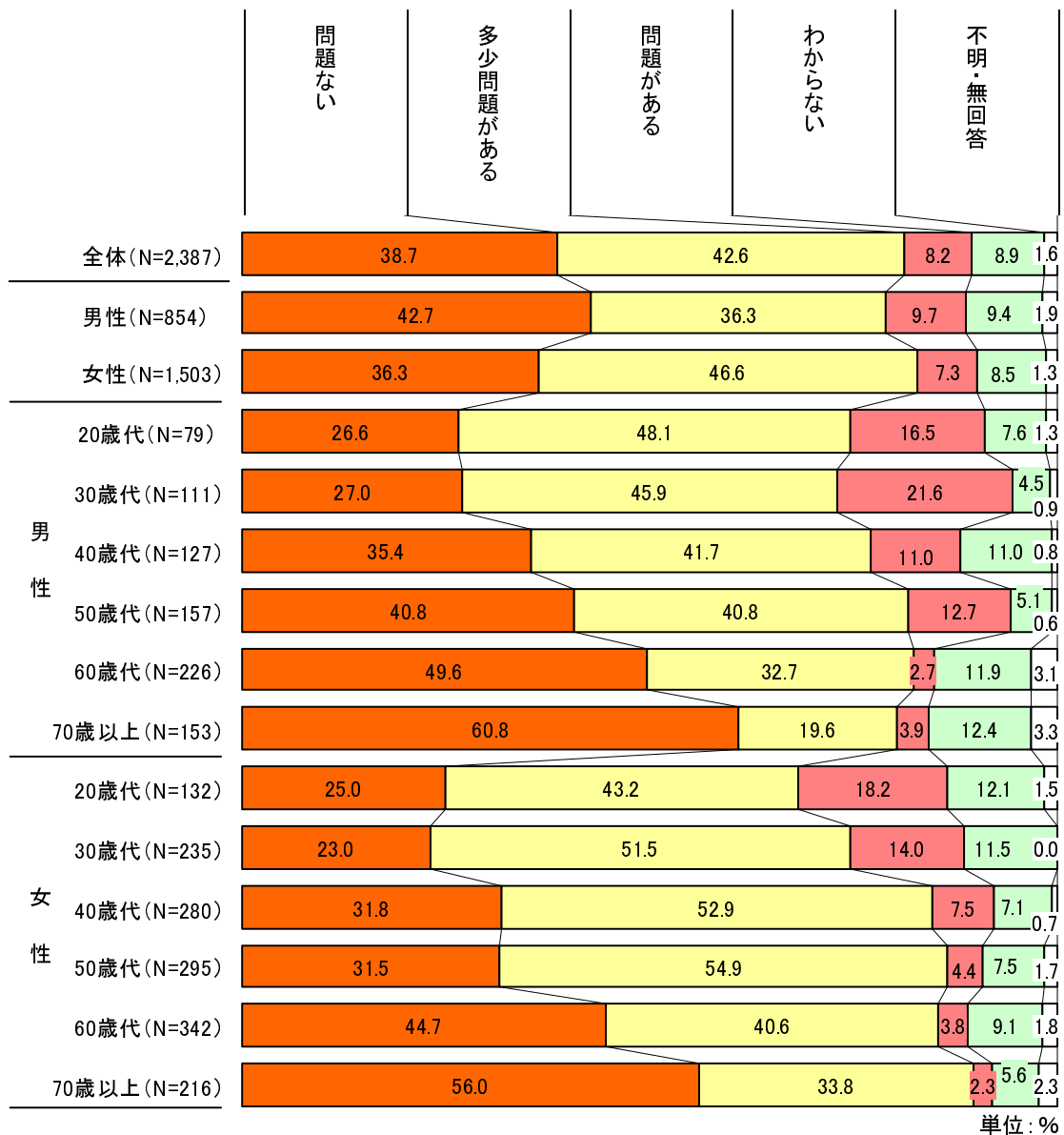
60歳以上を除くすべての年代で半数以上が問題があると思っています。

全体でみると、「多少問題がある」が42.6%で最も高くなっています。性別にみると男性は「問題ない」が42.7%で最も高く、女性は「多少問題がある」が46.6%で最も高くなっています。『問題がある』（「多少問題がある」と「問題がある」の合計）は全体で5割を超えています。

性・年代別にみると、男性の20～40歳代は「多少問題がある」が最も高く4割を超えています。50歳代は「多少問題がある」と「問題がある」が40.8%となっており、60歳以上は「問題ない」が最も高くなっています。

一方、女性は20～50歳代で「多少問題がある」が最も高く、30歳以上は5割を超えています。60歳以上は「問題ない」が最も高くなっています。

【全体、性・年代別】



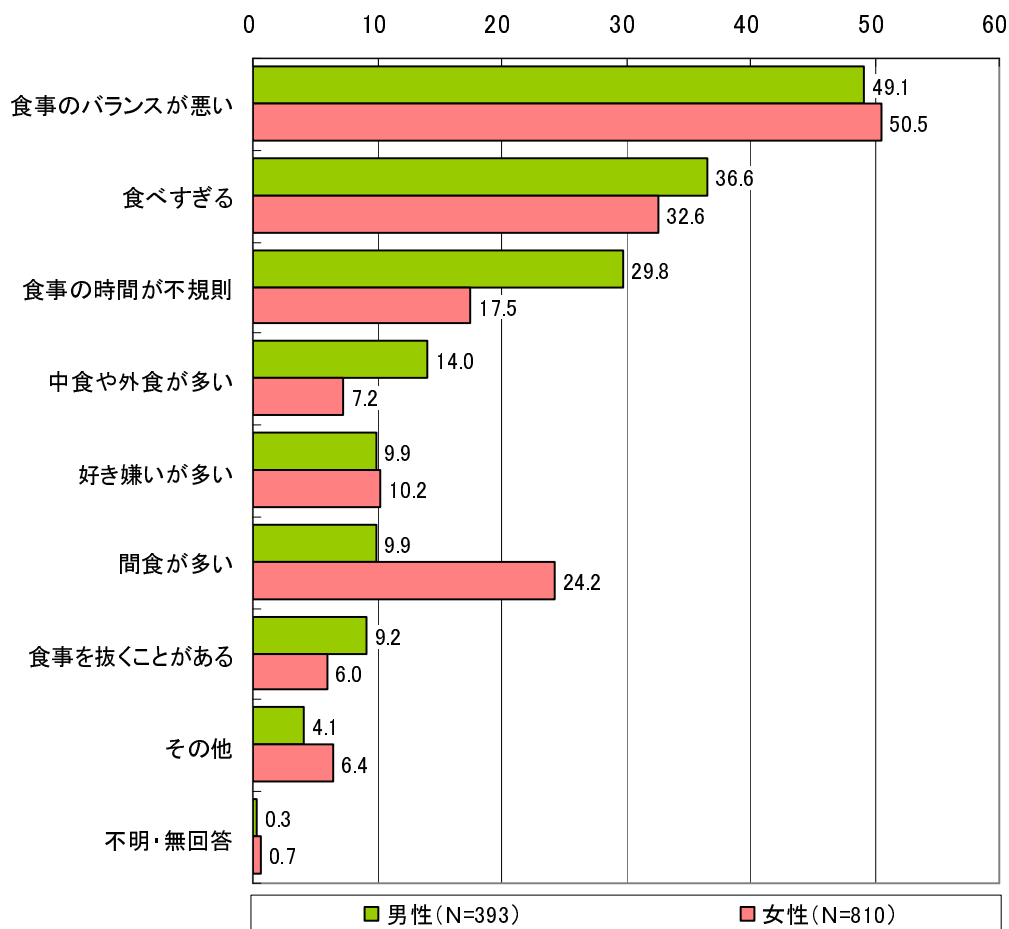
◆あなたの食生活の問題は、どのようなことですか。(複数回答)

約半数が「食事のバランスが悪い」を問題点としてあげています。

「食事のバランスが悪い」が男性・女性でそれぞれ 49.1%、50.5%と最も高く、次いで「食べすぎる」がそれぞれ 36.6%、32.6%となっています。3番目に男性は「食事の時間が不規則」が 29.8%となっており、女性よりも 12.3 ポイント高くなっています。女性は「間食が多い」が 24.2%となっており、男性よりも 14.3 ポイント高くなっています。

【性別】

単位：%



◆あなたは、「食事バランスガイド」を知っていましたか。

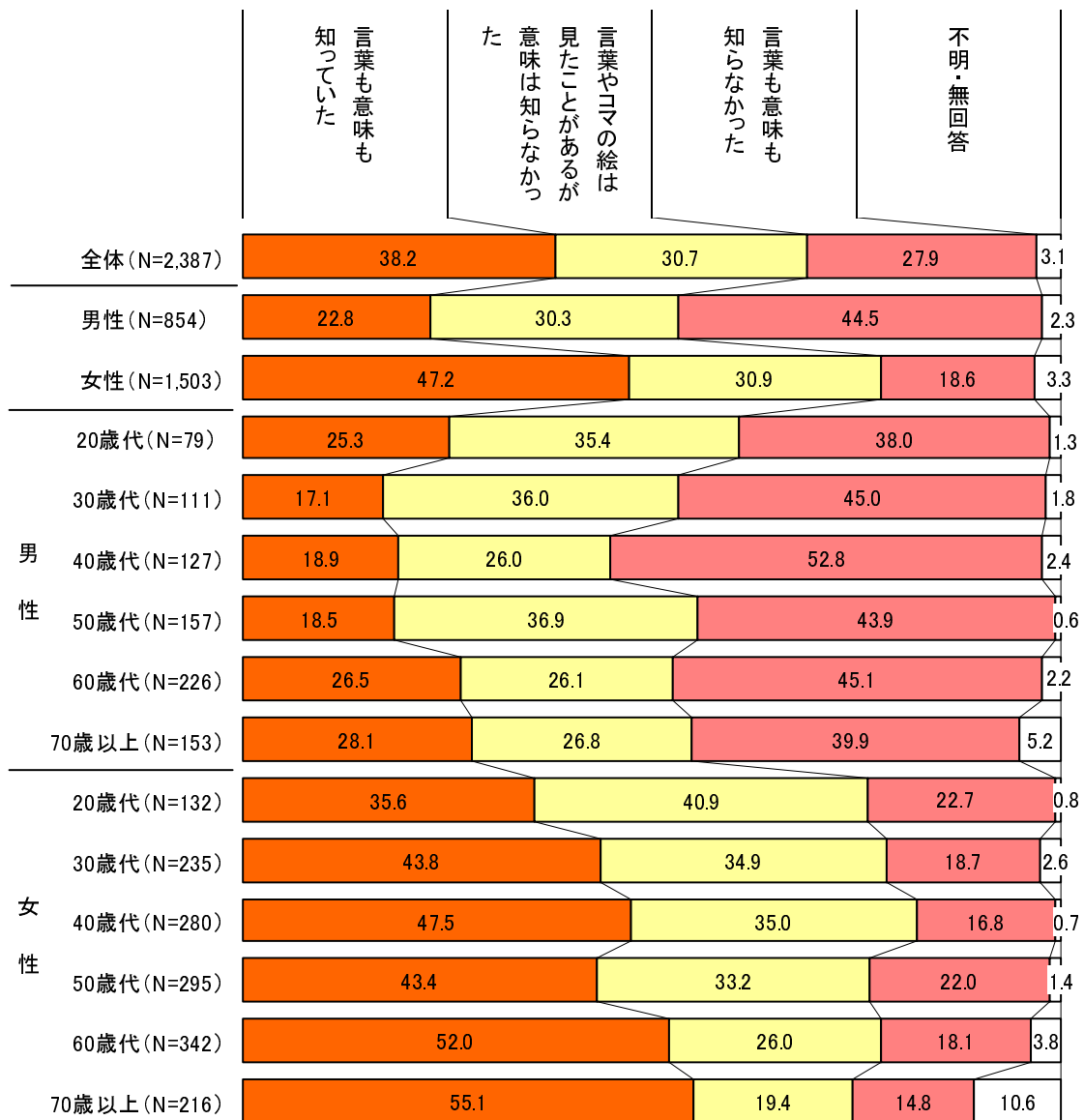
「食事バランスガイド」を知っている人は女性の方が多くなっています。

全体でみると、「言葉も意味も知っていた」が38.2%で最も高くなっています。性別にみると男性は「言葉も意味も知らなかった」が44.5%で最も高く、女性は「言葉も意味も知っていた」が47.2%で最も高くなっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「言葉も意味も知らなかった」が最も高く、特に40歳代は52.8%と5割を超えています。

一方、女性は20歳代を除くすべての年代で「言葉も意味も知っていた」が最も高く、特に60歳以上では5割を超えています。20歳代は「言葉やコマの絵は見たことがあるが、意味は知らなかった」が40.9%となっています。

【全体、性・年代別】



単位：%

◆あなたは、「食事バランスガイド」を参考にメニューを考えたり選んだりしていますか。

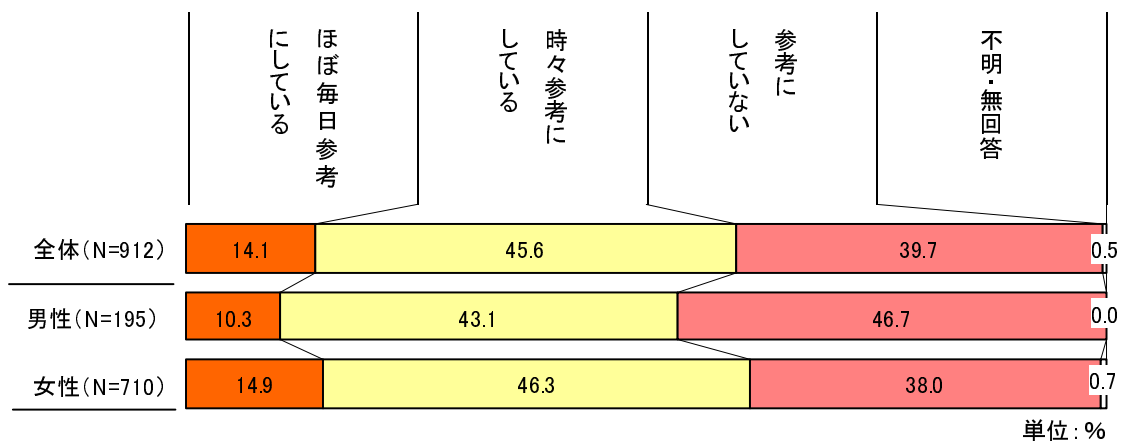
知っている人のうち参考にしている人は6割程度となっています。

男性は「参考にしていない」が46.7%で最も高く、次いで「時々参考にしている」が43.1%となっています。

一方、女性は「時々参考にしている」が46.3%で最も高く、次いで「参考にしていない」が38.0%となっています。

『参考にしている』（「ほぼ毎日参考にしている」と「時々参考にしている」の合計）は男性で53.4%、女性で61.2%と女性の方が高くなっています。

【全体、性別】



3) 食の安全・安心について

◆食品の安全性に不安を感じていますか。

7割以上の方が不安を感じており、女性の方がより多く感じています。

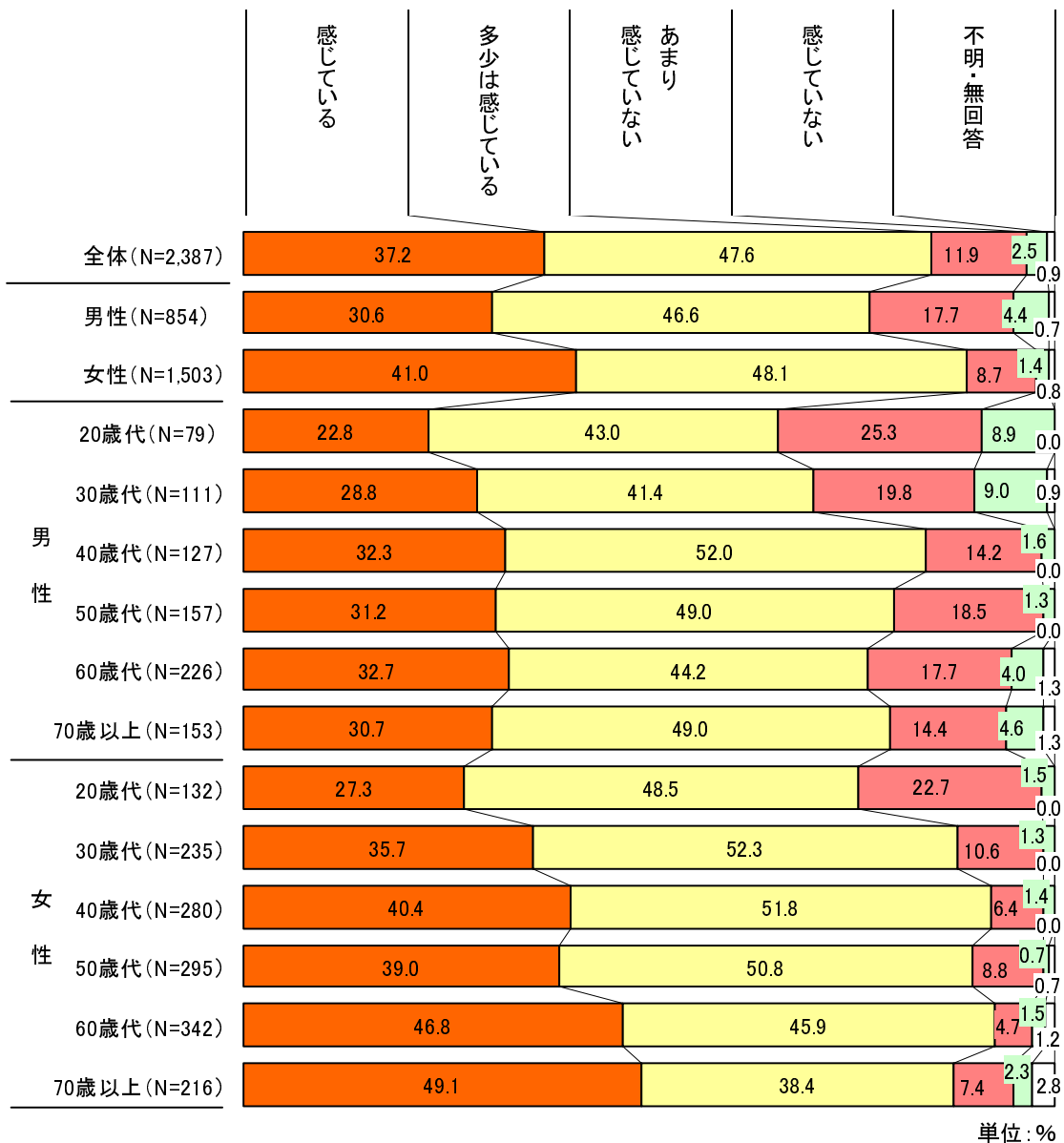
全体でみると、「多少は感じている」が47.6%で最も高く、性別にみると男性は46.6%、女性は48.1%となっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「多少は感じている」が最も高く、40歳代では52.0%と5割を超えています。『感じている』（「感じている」と「多少は感じている」の合計）は40～50歳代で8割以上と高くなっています。

一方、女性は20～50歳代で「多少は感じている」、60歳以上は「感じている」が最も高くなっています。『感じている』は40歳代・60歳代で9割以上と高くなっています。

不安を『感じている』が男性・女性ともに高く、各年代とも男性よりも女性の方が高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆食品を購入する際に、食品表示に気をつけていますか。

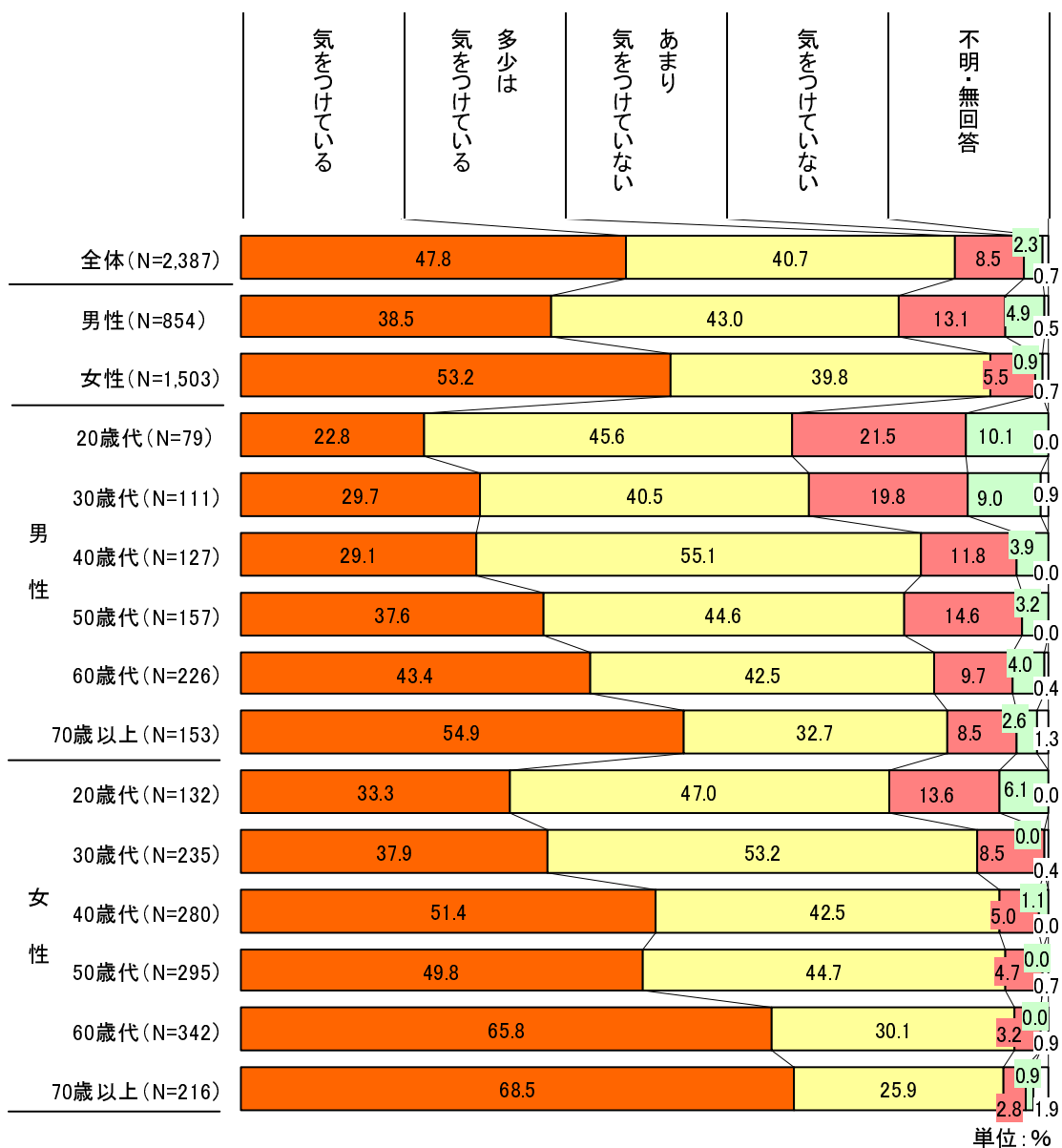
女性の9割以上が食品表示に気をつけています。

全体でみると、「気をつけている」が47.8%で最も高くなっています。性別にみると男性は「多少は気をつけている」が43.0%で最も高く、女性は「気をつけている」が53.2%で最も高くなっています。『気をつけている』（「気をつけている」と「多少は気をつけている」の合計）では、男性が81.5%、女性が93.0%となっています。

性・年代別にみると男性は20～50歳代で「多少は気をつけている」、60歳以上は「気をつけている」が最も高くなっています。『気をつけている』は40歳以上で8割を超えて高くなっています。

女性は20～30歳代で「多少は気をつけている」、40歳以上は「気をつけている」が最も高くなっています。『気をつけている』は30歳以上で9割を超えて高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆気をつけている食品表示は何ですか。(複数回答)

賞味（消費）期限を気をつけている人は9割程度となっています。

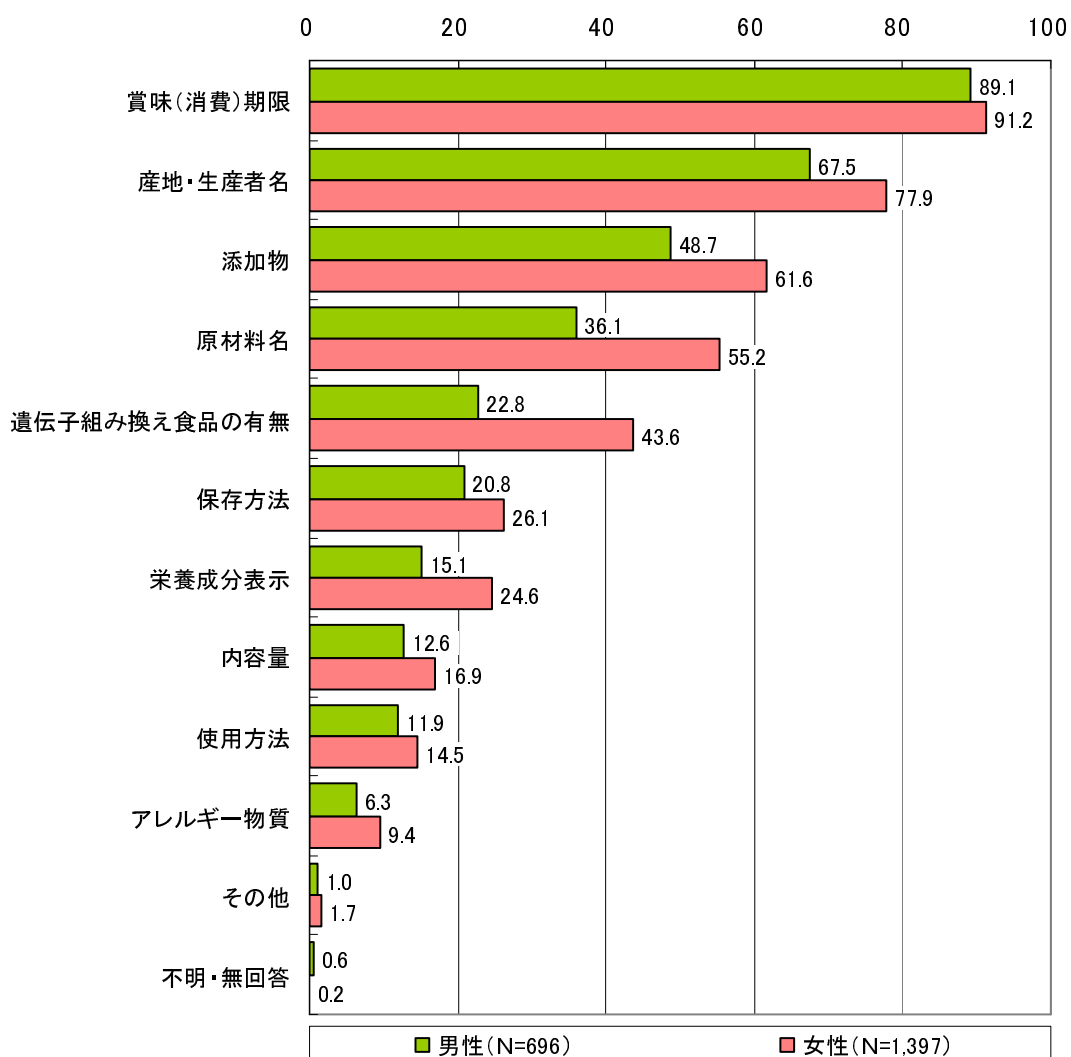
男性は「賞味（消費）期限」が89.1%で最も高く、次いで「産地・生産者名」が67.5%となっています。

女性は「賞味（消費）期限」が91.2%で最も高く、次いで「産地・生産者名」が77.9%となっています。

男性・女性ともに、「賞味（消費）期限」が最も高く、次いで「産地・生産者名」「添加物」「原材料名」と同じ順番で続いています。

【性別】

単位：%



◆野菜を購入する時、どのような点を最も重視していますか。

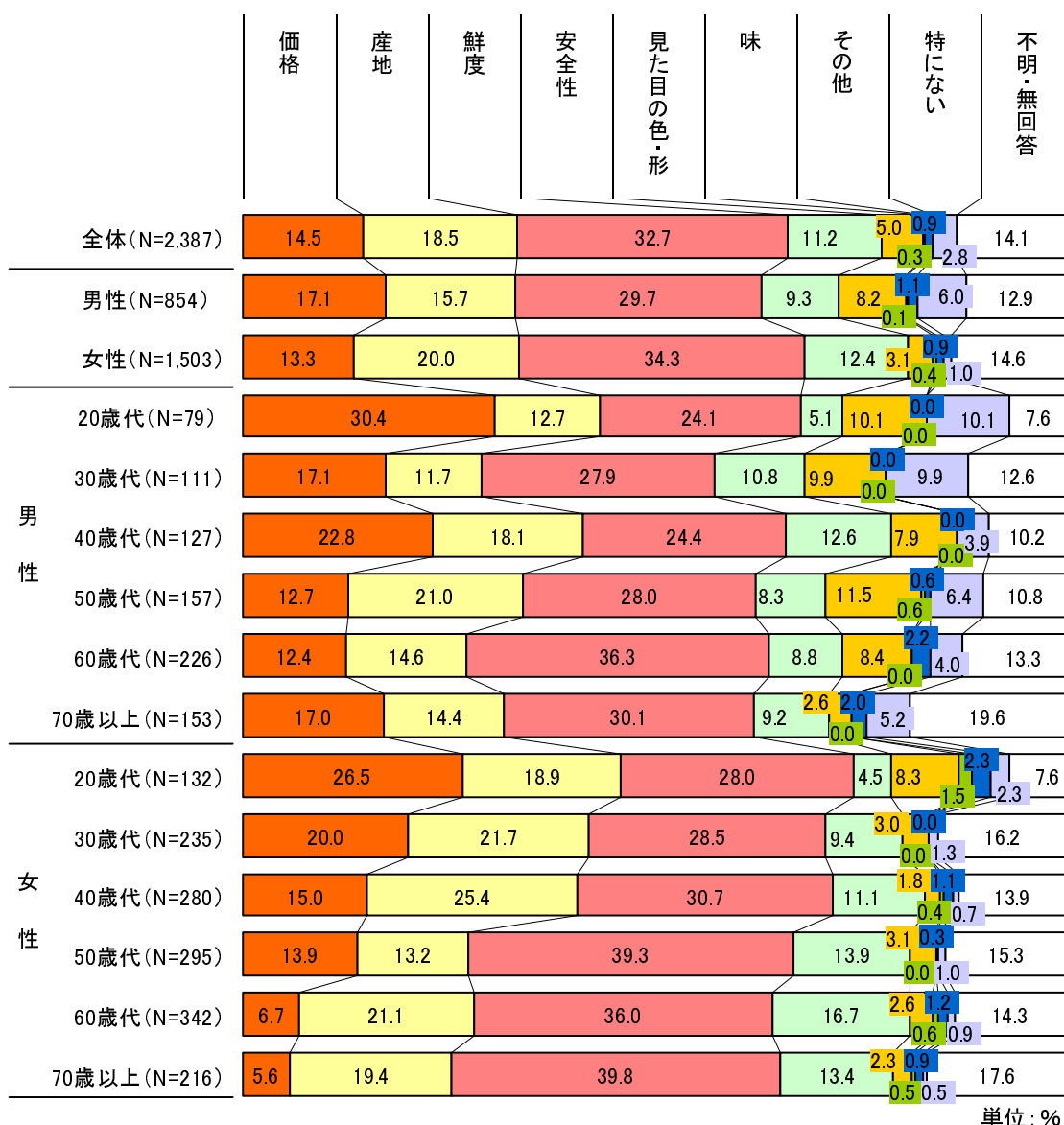
「鮮度」「価格」「産地」が重視されています。

全体でみると、「鮮度」が32.7%で最も高く、性別にみると男性は29.7%、女性は34.3%となっています。

性・年代別にみると、男性は20歳代を除くすべての年代で「鮮度」が最も高く、60歳以上では3割を超えています。20歳代は「価格」が30.4%となっています。

女性はすべての年代で「鮮度」が最も高く、40歳以上では3割を超えています。「価格」は年代が上がるにつれて低くなっています。

【全体、性・年代別】



4) 地産地消・食文化の伝承等について

◆地元や奈良県産の食材等があれば、購入したいですか。

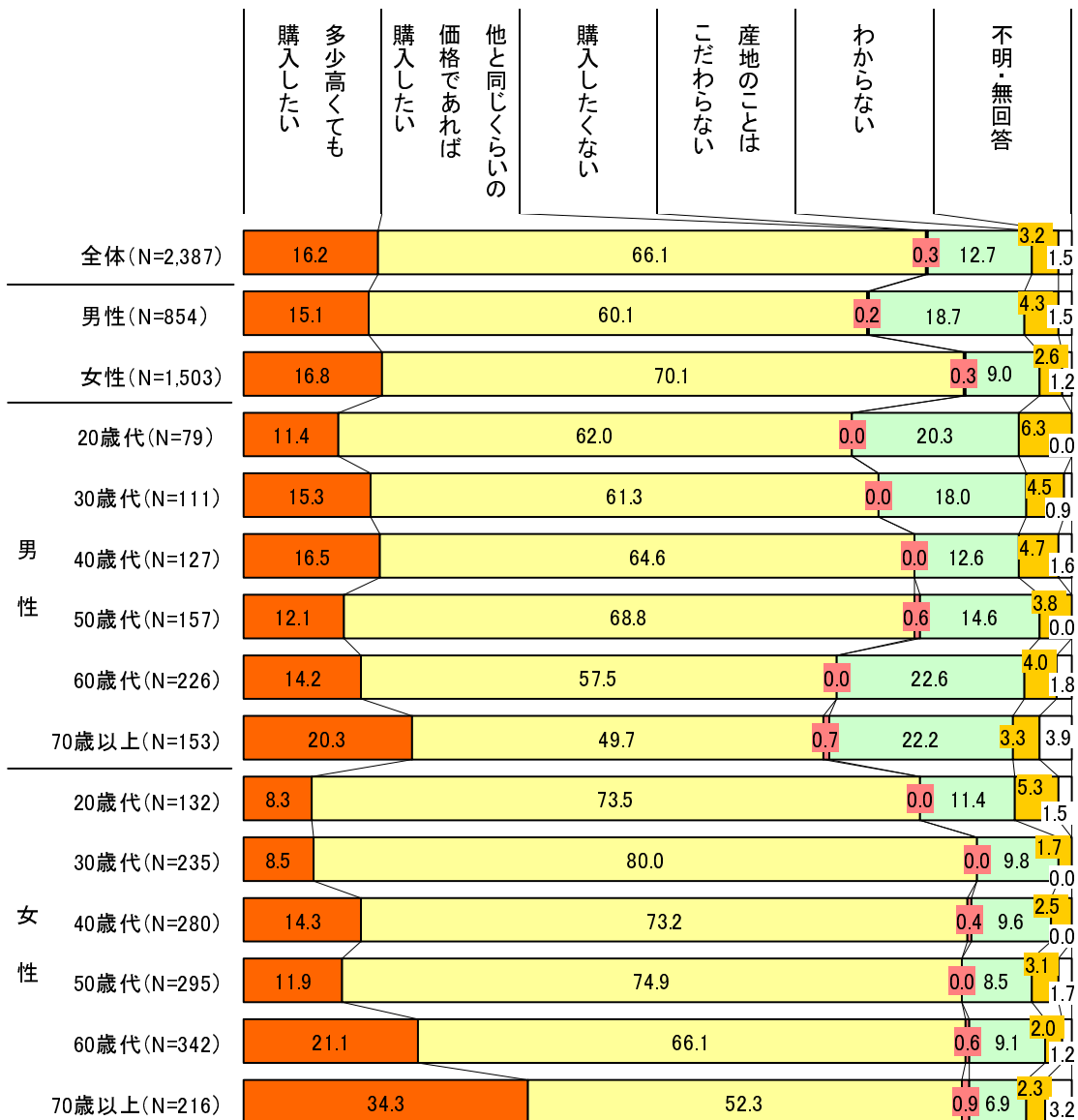
購入したいと考えている人が8割以上います。

全体で見ると、「他と同じぐらいの価格であれば購入したい」が66.1%で最も高くなっています。『購入したい』（「多少高くても購入したい」と「他と同じぐらいの価格であれば購入したい」の合計）では全体で82.3%となっており、性別にみると男性は75.2%、女性は86.9%となっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「他と同じぐらいの価格であれば購入したい」が最も高く、20～50歳代では6割を超えています。「産地のことはこだわらない」は20歳代・60歳以上で2割を超えており、他の年代よりも高くなっています。

女性はすべての年代で「他と同じぐらいの価格であれば購入したい」が最も高く、20～50歳代で7割を超えています。70歳以上では「多少高くても購入したい」が34.3%と他の年代よりも高くなっています。

【全体、性・年代別】



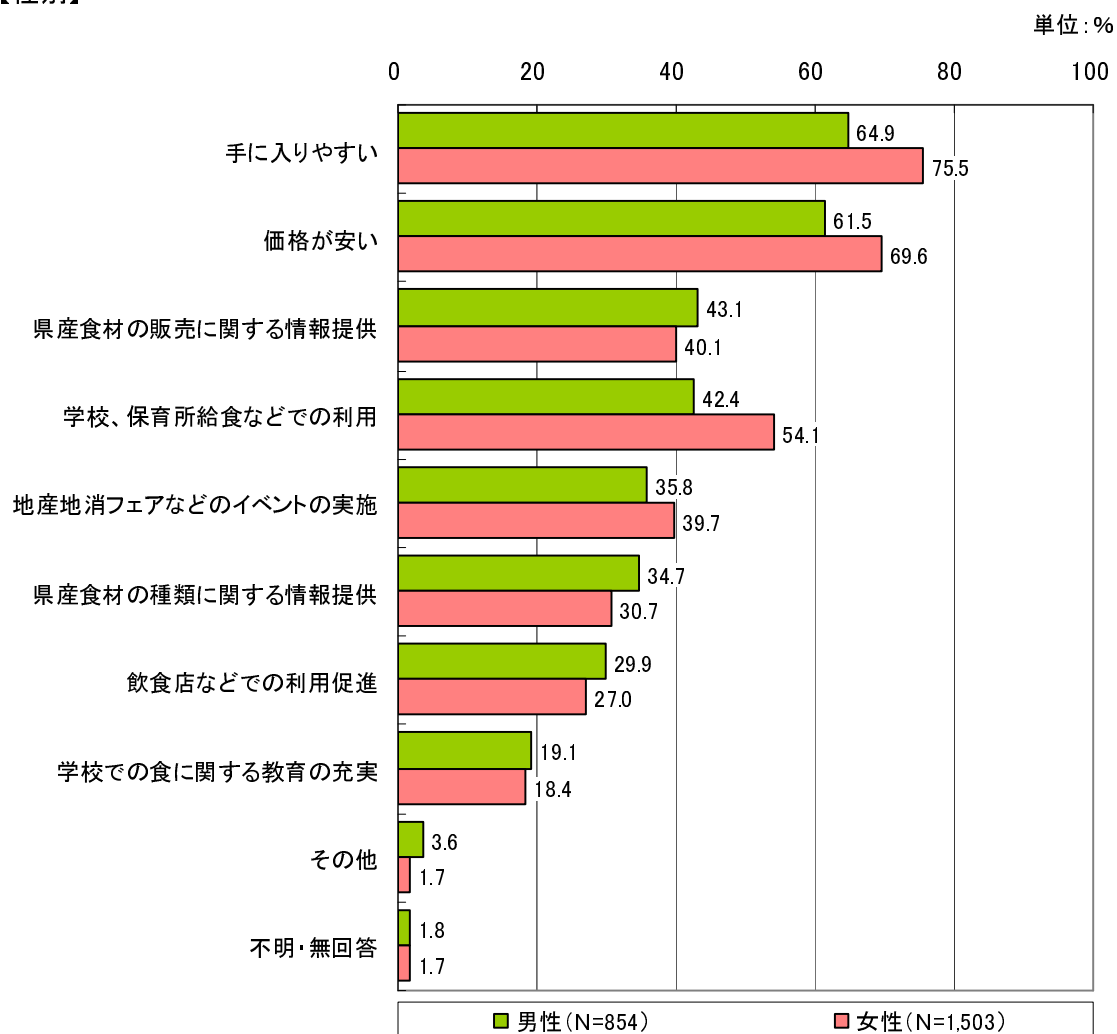
◆あなたは、地産地消を拡大するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

手に入りやすく、価格が安いことが必要だと思われています。

男性は「手に入りやすい」が64.9%で最も高く、次いで「価格が安い」が61.5%となっています。

女性は「手に入りやすい」が75.5%で最も高く、次いで「価格が安い」69.6%となっています。また、「学校、保育所給食などでの利用」については54.1%と高く、男性よりも11.7ポイント高くなっています。

【性別】



◆あなたは、伝統料理や郷土料理について関心がありますか。

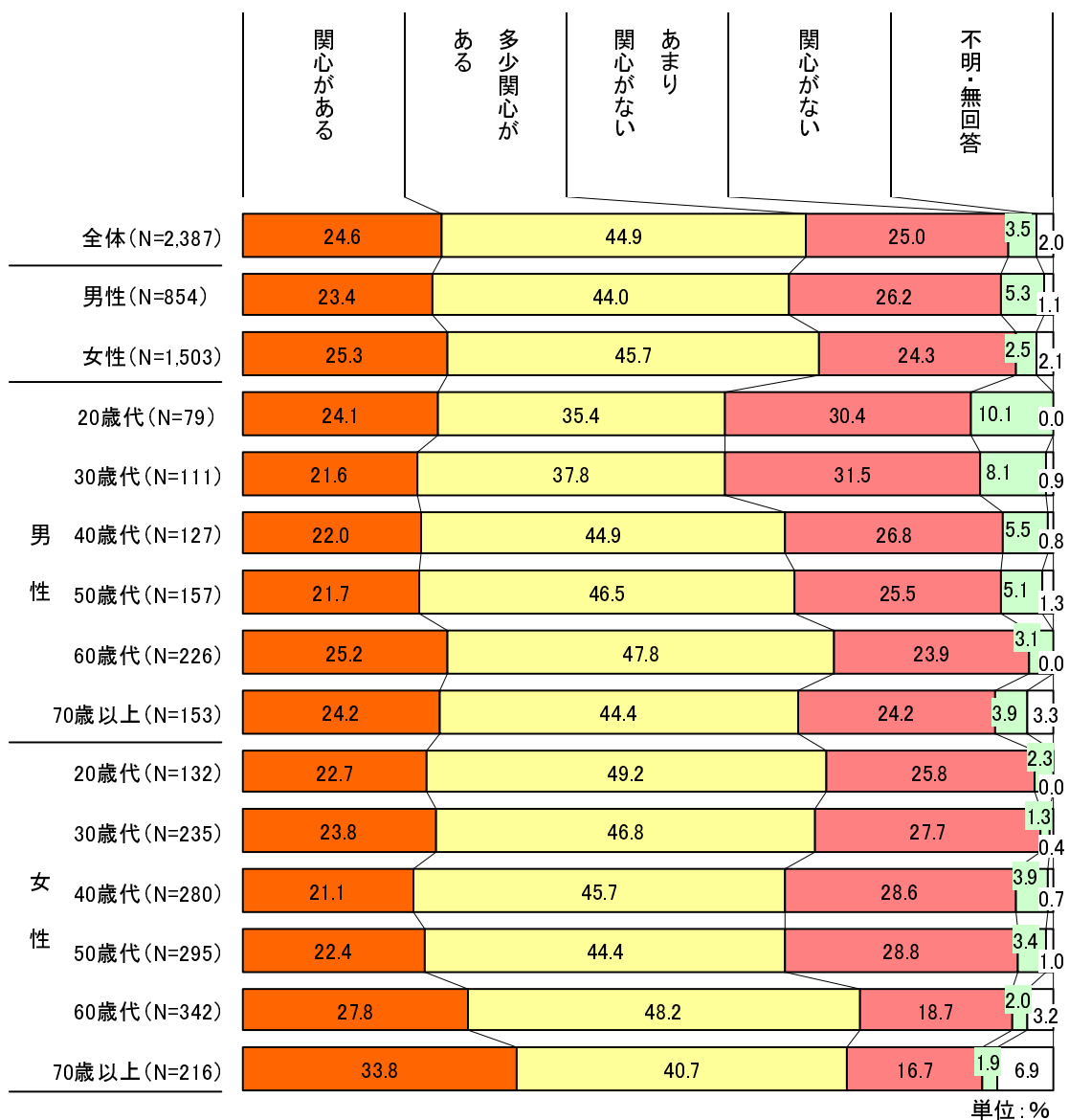
7割程度の方は伝統料理や郷土料理について関心があります。

全体でみると、「多少関心がある」が44.9%で最も高く、性別にみると男性は44.0%、女性は45.7%となっています。

性・年代別にみると、男性はすべての年代で「多少関心がある」が最も高く、40歳以上は4割を超えています。『関心がある』（「関心がある」と「多少関心がある」の合計）は60歳代で73.0%と7割を超えて高くなっています。

女性はすべての年代で「多少関心がある」が最も高く、4割を超えています。『関心がある』は20~30歳代・60歳以上で7割を超えています。

【全体、性・年代別】



◆あなたの家庭ではどのような行事食を食べていますか。(複数回答)

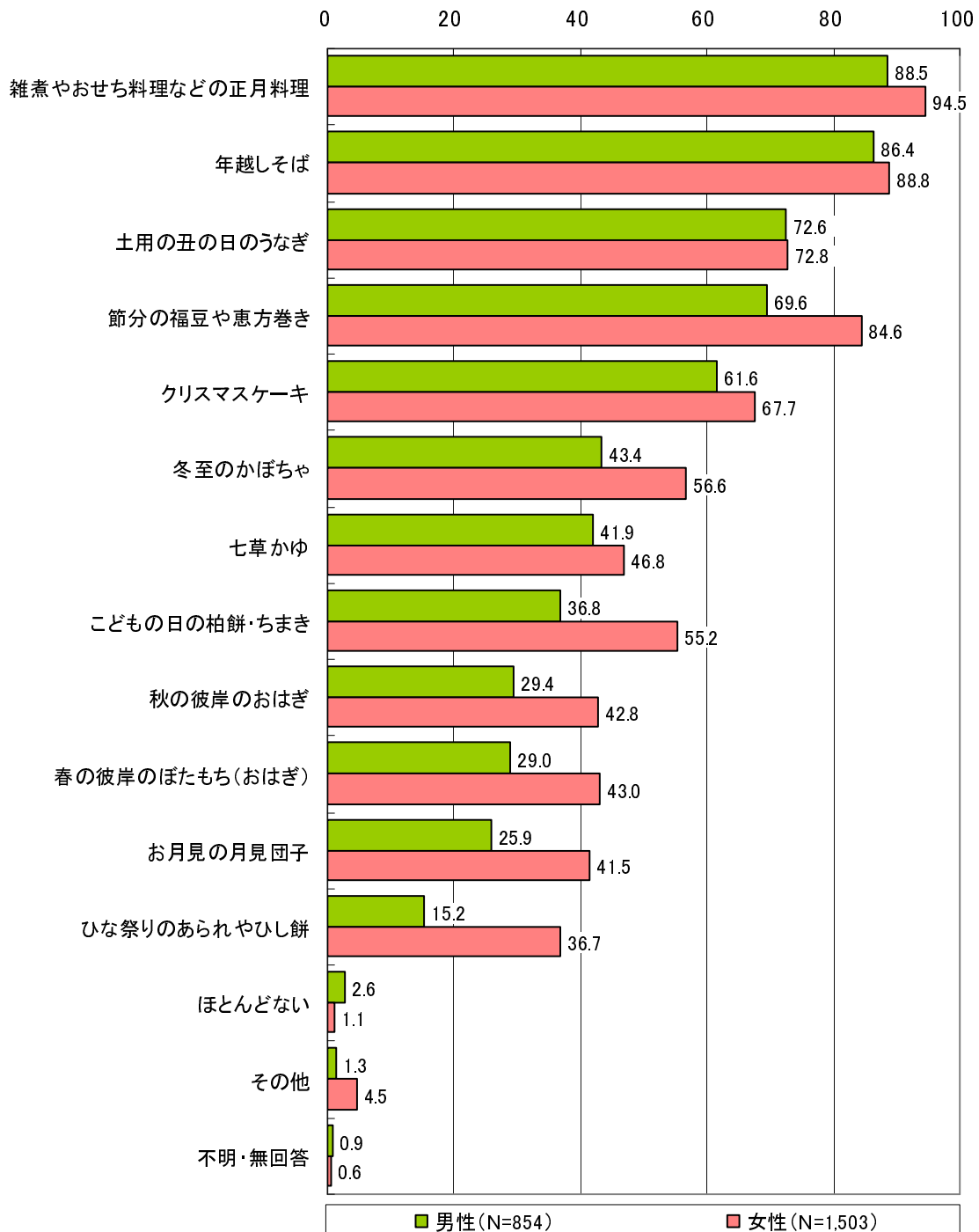
行事食はお正月と年越しによく食べられています。

男性は「雑煮やおせち料理などの正月料理」が88.5%で最も高く、次いで「年越しそば」が86.4%と8割を超えて高くなっています。

女性は「雑煮やおせち料理などの正月料理」が94.5%で最も高く、次いで「年越しそば」が88.8%と高くなっています。また「節分の福豆や恵方巻き」についても84.6%と8割を超えて高く、男性よりも15.0ポイント高くなっています。

【性別】

単位：%



◆食べ残しについて「もったいない」と思いますか。

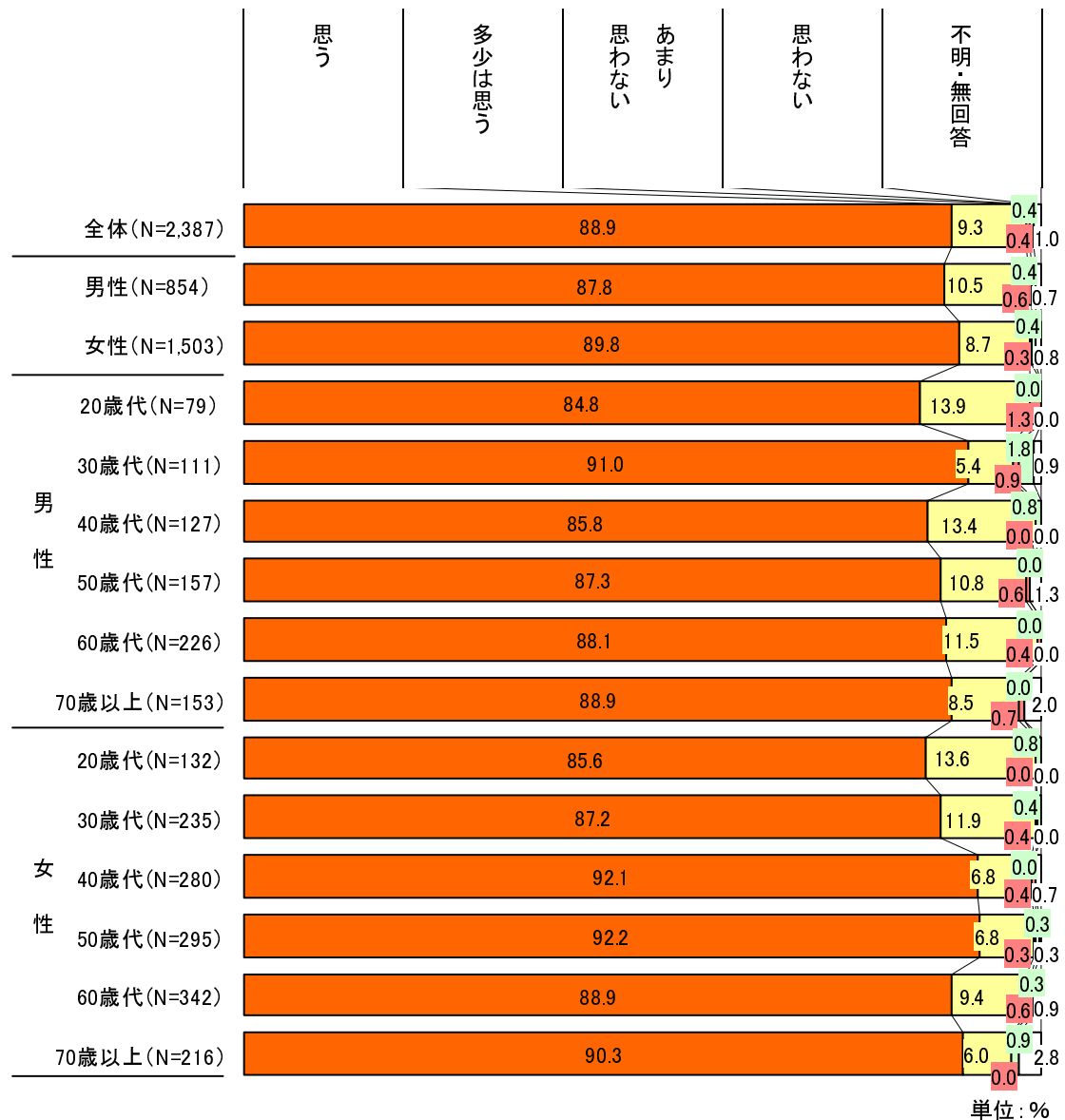
ほとんどの人が食べ残しを「もったいない」と思われています。

全体でみると「思う」が88.9%で最も高く、性別にみると男性は87.8%、女性は89.8%となっています。

性・年代別にみると男性はすべての年代で「思う」が最も高く、30歳代で91.0%となっています。

女性はすべての年代で「思う」が最も高く、40~50歳代・70歳以上で9割を超えています。

【全体、性・年代別】



5) 食環境について

◆あなたは、外食をしたり、食品を購入するときに健康のことを考えていますか。

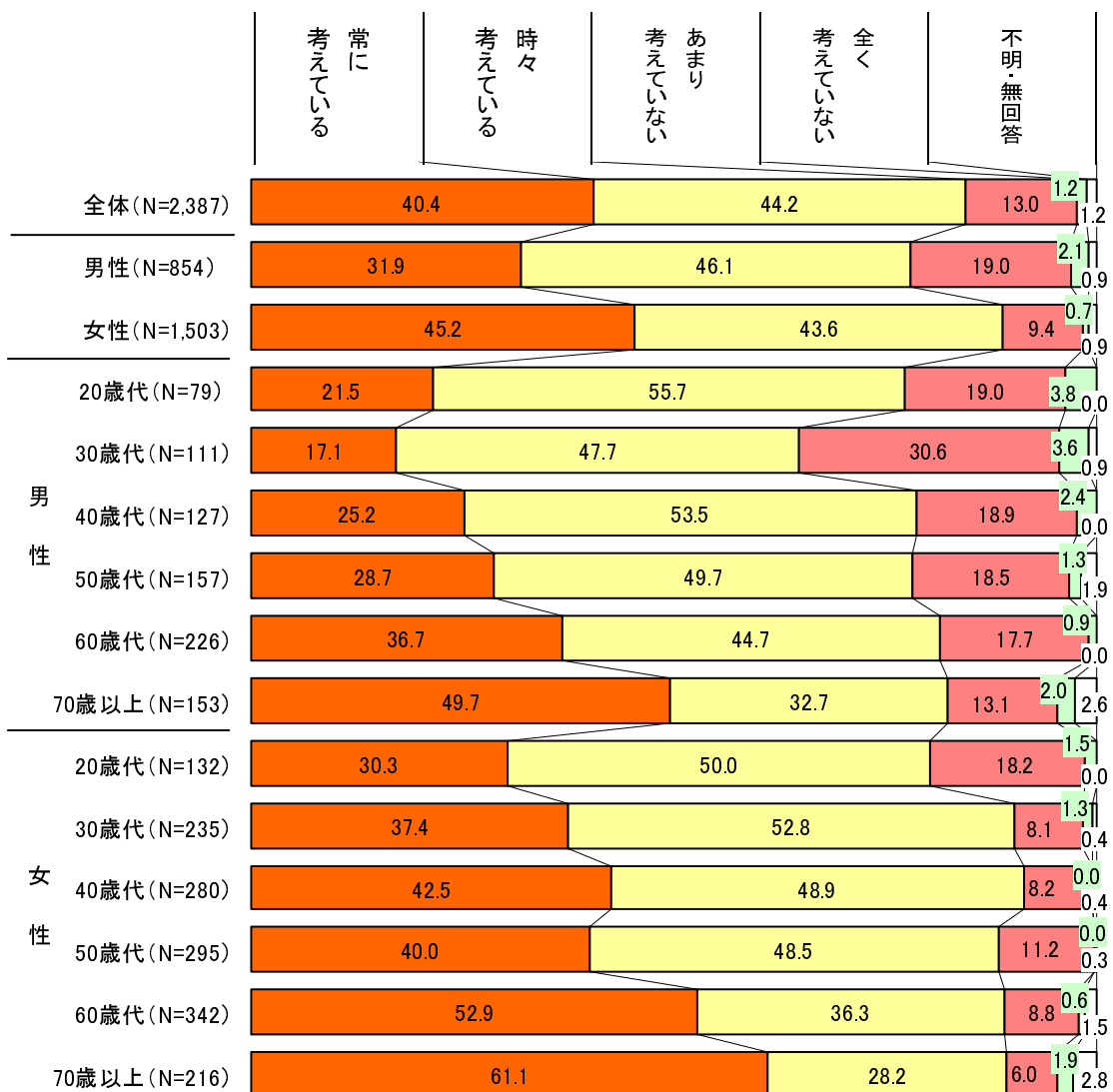
考えている人は多く、特に女性の30～40歳代は9割を超えています。

全体でみると、「時々考えている」が44.2%で最も高く、次いで「常に考えている」が40.4%となっています。性別にみると、男性は「時々考えている」が46.1%、女性は「常に考えている」が45.2%で高くなっています。

性・年代別にみると、男性は20～60歳代で「時々考えている」が最も高く、20歳代・40歳代は5割を超えています。70歳以上は「常に考えている」が最も高く、49.7%となっています。『考えている』（「常に考えている」と「時々考えている」の合計）は30歳代を除いたすべての年代で8割前後と高くなっています。30歳代は「あまり考えていない」が30.6%で他の年代よりも高くなっています。

女性は20～50歳代で「時々考えている」が最も高く、20～30歳代は5割を超えています。60歳以上は「常に考えている」が最も高く、5割を超えています。『考えている』は30～40歳代で9割を超えて高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆あなたは、外食したり、食品を購入するときに、栄養成分表示を参考にして
いますか。

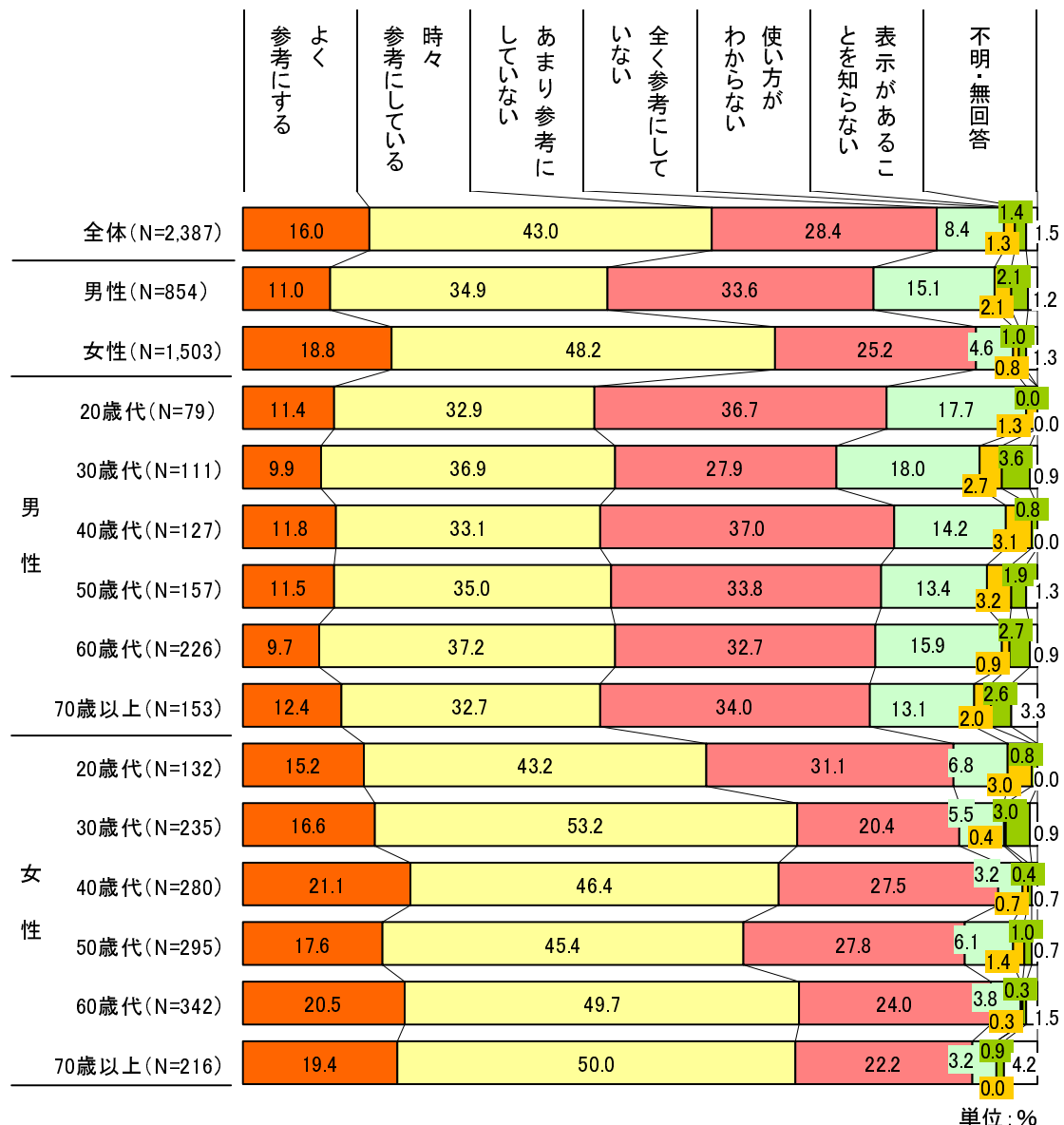
栄養成分表示を参考にしているのは女性の方が多くなっています。

全体でみると、「時々参考にしてている」が43.0%で最も高く、性別にみると男性は34.9%、女性
は48.2%となっています。

性・年代別にみると、男性は20歳代・40歳代・70歳以上で「あまり参考にしていない」、
30歳代・50～60歳代で「時々参考にしてている」が最も高くなっています。『参考にする』
（「よく参考にする」と「時々参考にしてている」の合計）についてはすべての年代で4割台と
なっています。

女性はすべての年代で「時々参考にしてている」が最も高く、30歳代・70歳以上で5割を
超えています。『参考にする』では30歳以上で6割を超えており、60歳代は70.2%と高
くなっています。『参考にする』は、すべての年代で男性より女性の方が高くなっています。

【全体、性・年代別】



◆あなたは、栄養表示やレストラン、職場の給食施設や食堂などで、食生活の改善や食育推進のため、どのようなことに取り組んで欲しいですか。(複数回答)

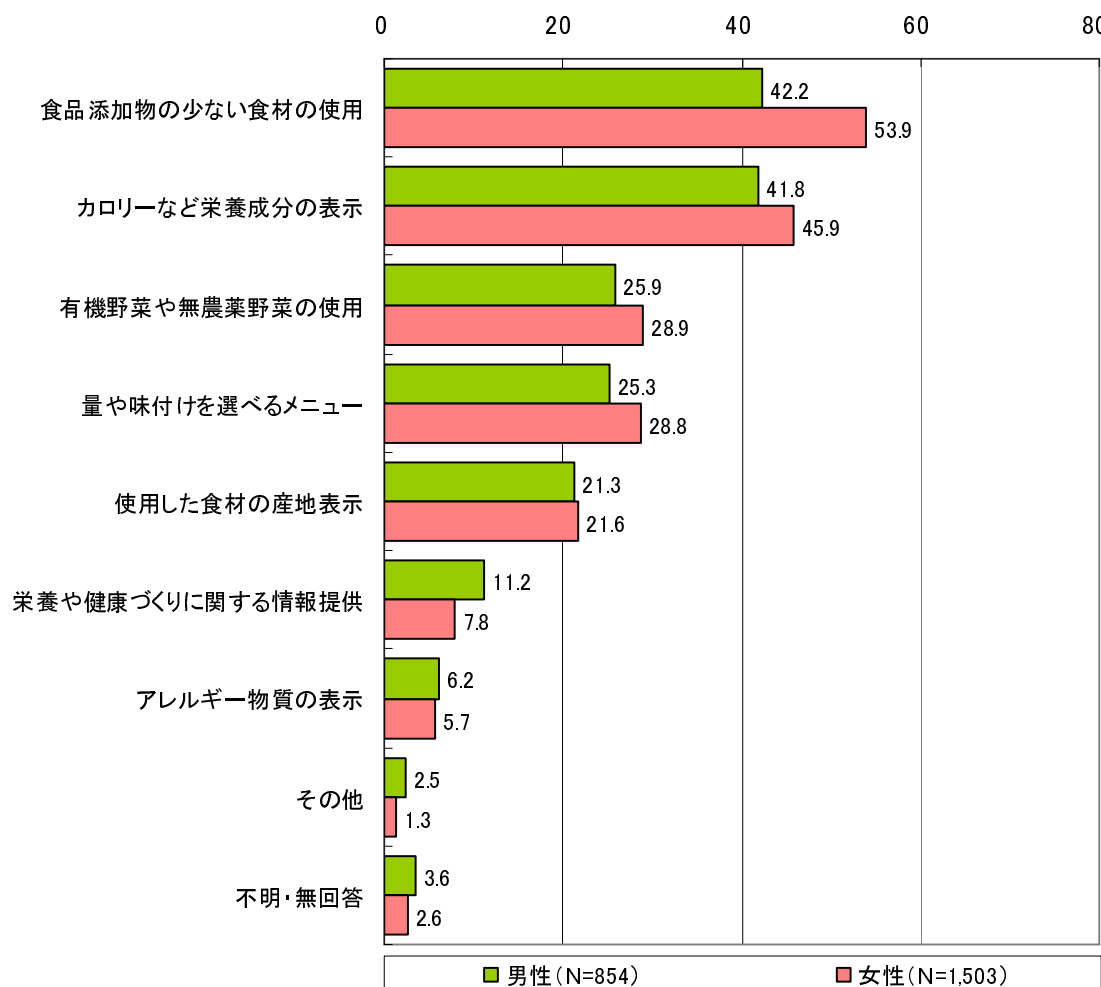
食品添加物の少ない食材の使用や栄養成分の表示が望まれています。

男性は「食品添加物の少ない食材の使用」が42.2%で最も高く、次いで「カロリーなど栄養成分の表示」が41.8%となっています。

女性は「食品添加物の少ない食材の使用」が53.9%で最も高く、男性よりも11.7ポイント高くなっています。次いで「カロリーなど栄養成分の表示」が45.9%となっています。

【性別】

単位：%



◆あなたのお住まいの地域（市町村）での食に関することについてどのように感じていますか。

①健康的な食材が手に入りやすい

7割の人は健康的な食材が手に入りやすいと感じています。

全体で見ると、『当てはまる』（「当てはまる」と「どちらかと言えば当てはまる」の合計）が71.7%となっており、性別にみると男性は73.0%、女性は71.6%と7割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまる』は男性・女性の各年代でほぼ7割を超えていますが、女性の70歳以上は6割程度となっています。

圏域別では、『当てはまる』がすべての圏域で7割前後となっています。

【全体、性・年代・圏域別】

	当てはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	不明・無回答
全体(N=2,387)	20.7	51.0	16.9	5.6	5.8
男性(N=854)	21.0	52.0	16.9	5.5	4.7
女性(N=1,503)	20.8	50.8	17.0	5.5	5.9
20歳代(N=79)	20.3	54.4	19.0	6.3	0.0
30歳代(N=111)	21.6	54.1	13.5	7.2	3.6
男					
40歳代(N=127)	18.9	49.6	23.6	5.5	2.4
性					
50歳代(N=157)	20.4	54.8	14.6	5.1	5.1
60歳代(N=226)	19.0	53.5	17.7	4.9	4.9
70歳以上(N=153)	25.5	46.4	13.7	5.2	9.2
20歳代(N=132)	22.0	50.0	17.4	9.8	0.8
30歳代(N=235)	17.0	57.0	18.7	5.1	2.1
女					
40歳代(N=280)	17.9	58.2	18.2	4.3	1.4
性					
50歳代(N=295)	23.4	50.8	18.3	4.7	2.7
60歳代(N=342)	19.6	48.5	16.7	5.8	9.4
70歳以上(N=216)	25.9	38.4	12.0	5.6	18.1
奈良圏域(N=653)	20.5	53.9	17.0	4.9	3.7
東和圏域(N=340)	22.9	50.3	14.4	6.5	5.9
西和圏域(N=619)	18.4	50.9	17.8	6.5	6.5
中和圏域(N=611)	21.6	50.2	18.3	4.6	5.2
南和圏域(N=128)	25.8	45.3	13.3	6.3	9.4

単位：%

②健康的なメニューを意識する飲食店などが多くある

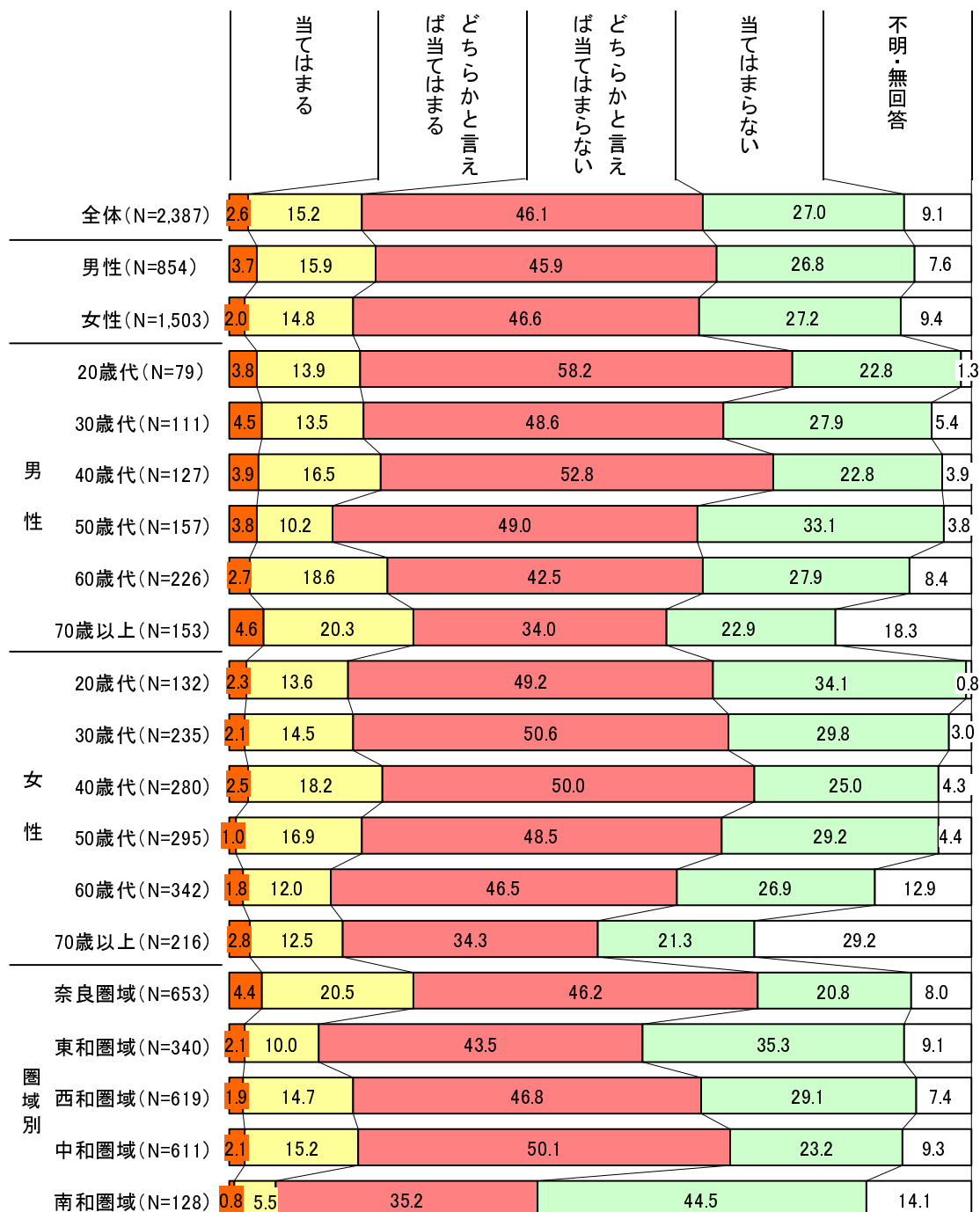
健康的なメニューを意識する飲食店は多くないと感じています。

全体でみると、『当てはまらない』（「どちらかと言えば当てはまらない」と「当てはまらない」の合計）が73.1%となっており、性別にみると男性は72.7%、女性は73.8%と7割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまらない』は男性の20歳代・50歳代、女性の20～30歳代で8割を超えて高くなっています。

圏域別では、『当てはまらない』が奈良圏域を除くすべての圏域で7割以上となっています。

【全体、性・年代・圏域別】



単位：%

③食をテーマにした取り組みやイベントなど地域活動が活発である

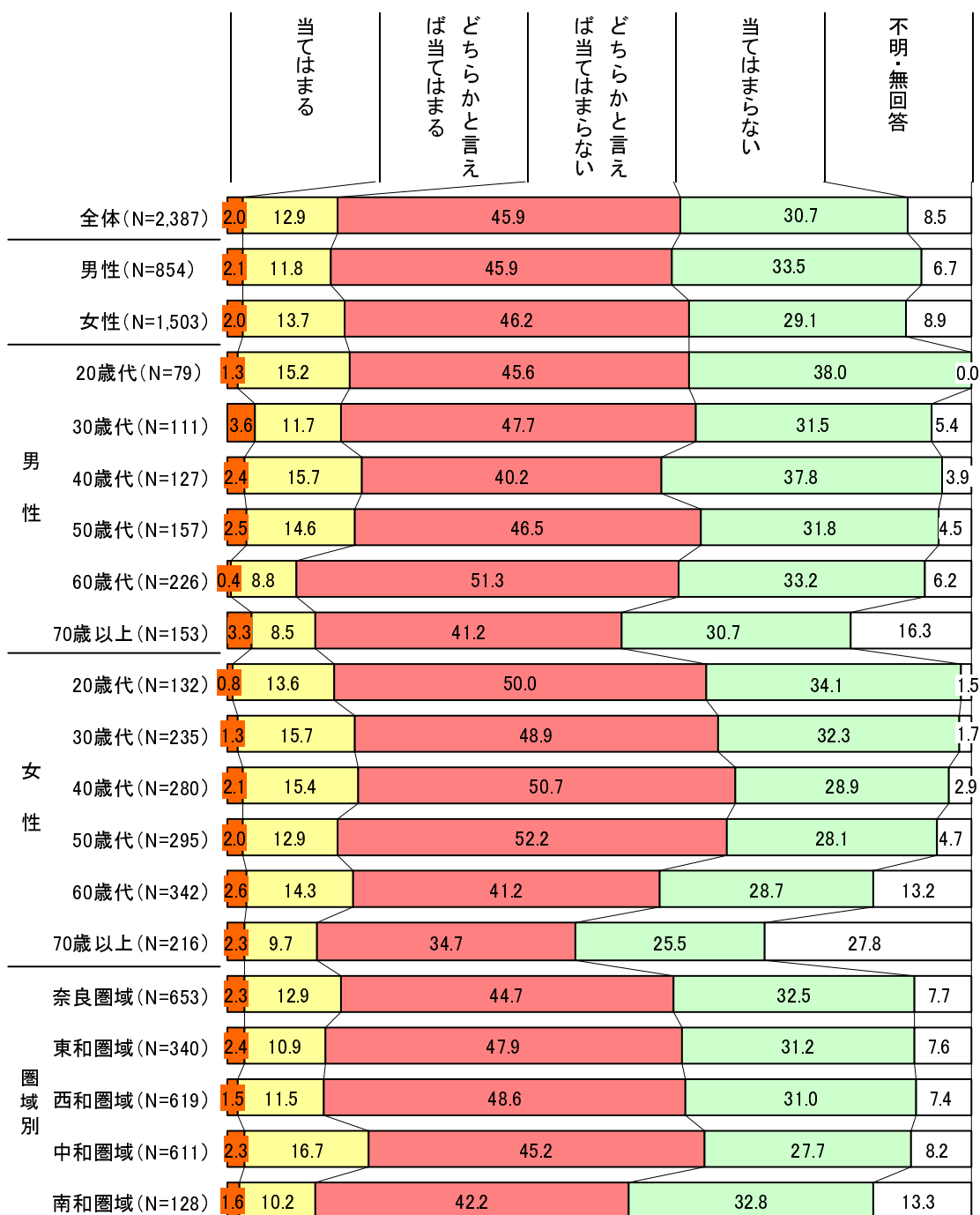
食のイベントや地域活動はあまり活発ではないと感じています。

全体でみると、『当てはまらない』が76.6%となっており、性別にみると男性は79.4%、女性は75.3%と7割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまらない』は男性の20歳代・60歳代、女性の20～30歳代、50歳代で8割を超えて高くなっています。

圏域別では、『当てはまらない』がすべての圏域で7割以上となっています。

【全体、性・年代・圏域別】



単位：%

④食文化や伝統、季節性などを大事にする雰囲気がある

食文化や伝統を大事にする雰囲気があると感じていない人が5割以上います。

全体でみると、『当てはまらない』が55.3%となっており、性別にみると男性は59.1%、女性は53.3%と5割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまらない』は男性の60歳代で6割を超えており、その他の年代で5割を超えています。一方、女性の20~60歳代で『当てはまらない』は5割を超えています。『当てはまる』は、男性・女性ともに、20~50歳代が60歳以上よりも高くなっています。

圏域別では、『当てはまる』がすべての圏域で3割以上となっており、南和圏域については43.0%と最も高くなっています。

【全体、性・年代・圏域別】

	当てはまる	どちらかと言え ば当てはまる	どちらかと言え ば当てはまらない	当てはまらない	不明・無回答
全体(N=2,387)	7.4	29.1	35.2	20.1	8.2
男性(N=854)	6.0	27.6	37.2	21.9	7.3
女性(N=1,503)	8.2	30.3	34.3	19.0	8.2
20歳代(N=79)	17.7	26.6	30.4	21.5	3.8
30歳代(N=111)	4.5	32.4	37.8	18.9	6.3
40歳代(N=127)	3.9	31.5	37.8	21.3	5.5
50歳代(N=157)	3.2	35.0	34.4	22.9	4.5
60歳代(N=226)	5.8	21.7	42.5	23.9	6.2
70歳以上(N=153)	5.9	22.9	34.6	20.9	15.7
20歳代(N=132)	10.6	35.6	36.4	15.9	1.5
30歳代(N=235)	7.2	34.9	35.3	20.4	2.1
40歳代(N=280)	10.0	31.1	36.4	20.4	2.1
50歳代(N=295)	8.8	34.2	33.6	19.7	3.7
60歳代(N=342)	6.7	26.9	33.6	21.1	11.7
70歳以上(N=216)	6.9	20.8	31.5	13.9	26.9
奈良圏域(N=653)	7.5	28.5	34.5	22.4	7.2
東和圏域(N=340)	10.6	28.8	36.8	16.8	7.1
西和圏域(N=619)	4.2	27.9	38.0	21.8	8.1
中和圏域(N=611)	7.5	31.8	35.0	18.2	7.5
南和圏域(N=128)	13.3	29.7	27.3	17.2	12.5

単位：%

⑤お裾分けなど、互いに食べ物などを気軽に交換しあう関係がある

お裾分けなどの関係があると感じていない人が6割近くいます。

全体でみると、『当てはまらない』が57.1%となっており、性別にみると男性は61.5%、女性は54.9%と男性は6割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまらない』は男性の20歳代・40歳代・60歳代と女性の40～50歳代で6割を超えています。『当てはまる』は、女性の20歳代・60歳代・70歳以上で4割を超えています。

圏域別では、『当てはまる』がすべての圏域で3割以上となっており、東和圏域は47.9%、南和圏域は48.4%と高くなっています。

【全体、性・年代・圏域別】

	当てはまる	どちらかと言え ば当てはまる	どちらかと言え ば当てはまらない	当てはまらない	不明・無回答
全体(N=2,387)	12.7	24.3	24.3	32.8	5.9
男性(N=854)	8.5	24.4	27.2	34.3	5.6
女性(N=1,503)	15.2	24.6	22.8	32.1	5.4
20歳代(N=79)	13.9	22.8	20.3	43.0	0.0
30歳代(N=111)	13.5	23.4	20.7	39.6	2.7
40歳代(N=127)	7.1	25.2	29.9	34.6	3.1
50歳代(N=157)	6.4	30.6	25.5	33.8	3.8
60歳代(N=226)	6.6	20.8	33.2	33.6	5.8
70歳以上(N=153)	8.5	24.2	25.5	27.5	14.4
20歳代(N=132)	15.9	25.8	19.7	36.4	2.3
30歳代(N=235)	10.6	26.8	20.0	40.4	2.1
40歳代(N=280)	14.6	20.7	30.7	33.2	0.7
50歳代(N=295)	10.2	25.1	25.1	36.9	2.7
60歳代(N=342)	19.9	27.2	20.8	24.9	7.3
70歳以上(N=216)	19.9	20.8	17.6	24.1	17.6
奈良圏域(N=653)	9.6	20.4	24.3	41.2	4.4
東和圏域(N=340)	18.2	29.7	19.7	26.5	5.9
西和圏域(N=619)	11.0	24.1	28.6	30.9	5.5
中和圏域(N=611)	13.3	25.5	24.1	32.1	5.1
南和圏域(N=128)	21.1	27.3	19.5	21.9	10.2

⑥食に関する必要な情報が得られる

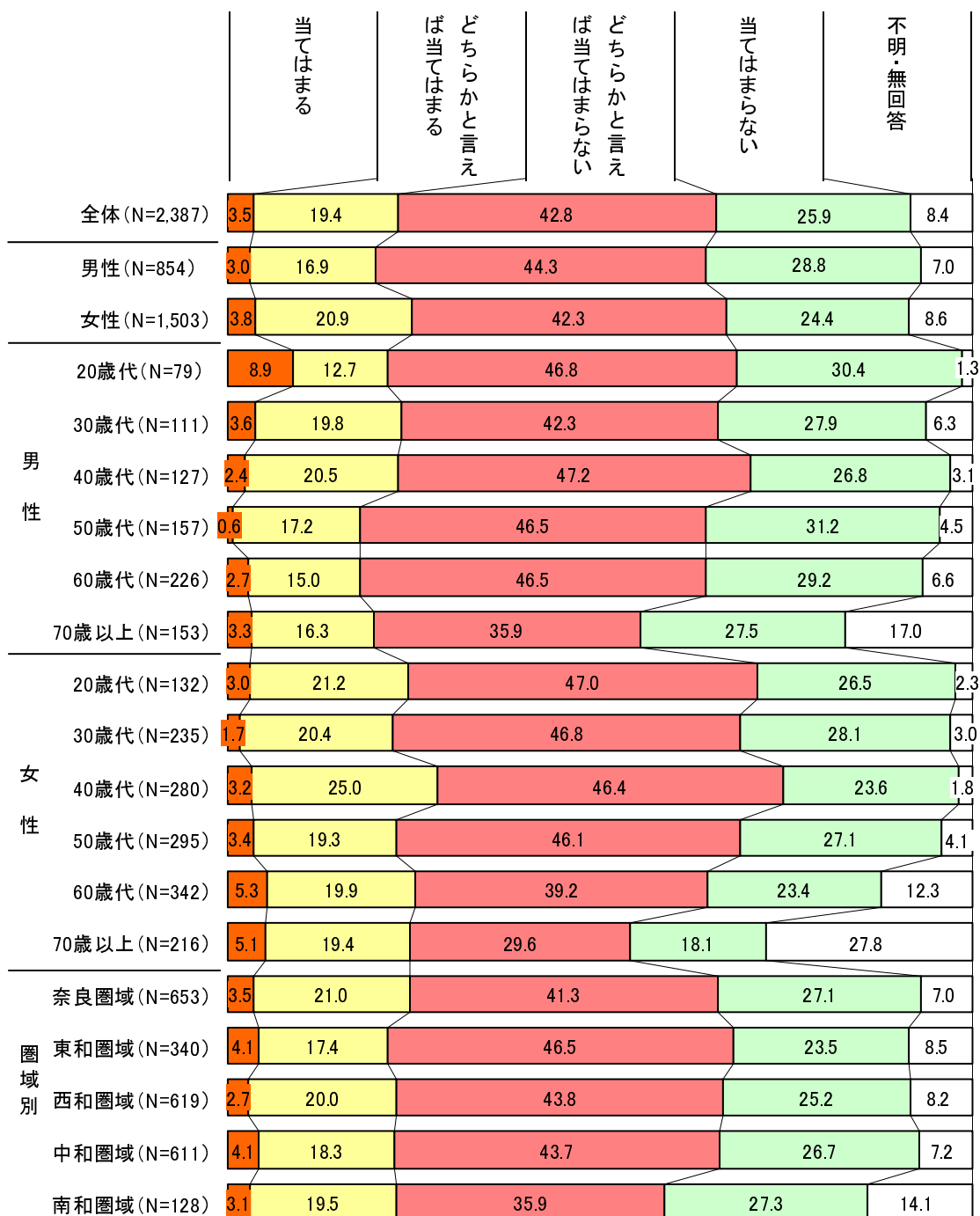
食に関する必要な情報があまり得られないと感じています。

全体でみると、『当てはまらない』が68.7%となっており、性別にみると男性は73.1%、女性は66.7%と男性は7割を超えています。

性・年代別にみると、『当てはまらない』は男性の20～60歳代と女性の20～50歳代で7割を超えています。

圏域別では、『当てはまらない』が奈良圏域・西和圏域・南和圏域で6割以上、東和圏域・中和圏域は7割以上となっています。

【全体、性・年代・圏域別】



単位：%

⑦学校で食教育に取り組んでいる

学校で食教育に取り組んでいると感じていない人が半数程度います。

全体でみると、『当てはまらない』が48.2%となっており、性別にみると男性は53.1%、女性は45.9%と男性は5割を超えています。

性・年代別にみると、男性は『当てはまらない』が20歳代で7割以上、30～50歳代で5割以上となっています。一方、女性は『当てはまらない』が20歳代で6割以上、30歳代・50歳代が5割以上となっています。

圏域別では、『当てはまらない』がすべての圏域で4割以上となっており、奈良圏域では50.0%となっています。

【全体、性・年代・圏域別】

	当てはまる	どちらかと言え ば当てはまる	どちらかと言え ば当てはまらない	当てはまらない	不明・無回答	
全体(N=2,387)	6.4	21.8	24.7	23.5	23.6	
男性(N=854)	4.7	22.4	27.6	25.5	19.8	
女性(N=1,503)	7.5	21.6	23.3	22.6	25.0	
男 性	20歳代(N=79)	5.1	17.7	45.6	27.8	3.8
	30歳代(N=111)	9.0	25.2	29.7	25.2	10.8
	40歳代(N=127)	3.9	30.7	31.5	22.8	11.0
	50歳代(N=157)	7.0	21.0	31.8	26.1	14.0
	60歳代(N=226)	2.7	19.9	23.5	27.4	26.5
	70歳以上(N=153)	2.6	20.9	15.0	23.5	37.9
	女 性	20歳代(N=132)	9.1	20.5	37.9	27.3
30歳代(N=235)		8.1	28.9	28.1	23.0	11.9
40歳代(N=280)		13.2	32.5	26.8	20.4	7.1
50歳代(N=295)		5.1	21.4	27.1	25.4	21.0
60歳代(N=342)		5.3	13.7	16.1	22.2	42.7
70歳以上(N=216)		5.1	13.4	11.1	18.5	51.9
圏 域 別		奈良圏域(N=653)	6.3	21.0	23.4	26.6
	東和圏域(N=340)	5.6	21.5	27.6	21.5	23.8
	西和圏域(N=619)	5.7	22.3	25.2	22.8	24.1
	中和圏域(N=611)	6.7	23.6	25.5	23.2	20.9
	南和圏域(N=128)	11.7	18.0	21.1	20.3	28.9

単位：%

◆あなたにとって、健康的な食生活を営むために必要な情報は何か。
(複数回答)

食の安全、食品表示に関する情報が最も求められています。

男性は「食の安全、食品表示に関する情報」が44.1%で最も高く、次いで「食生活と生活習慣病に関する情報」が41.8%と4割を超えています。

女性は「食の安全、食品表示に関する情報」が41.3%、「食生活と生活習慣病に関する情報」が33.5%となっています。

【性別】

単位：%

